

第3章 高齢者一般調査B

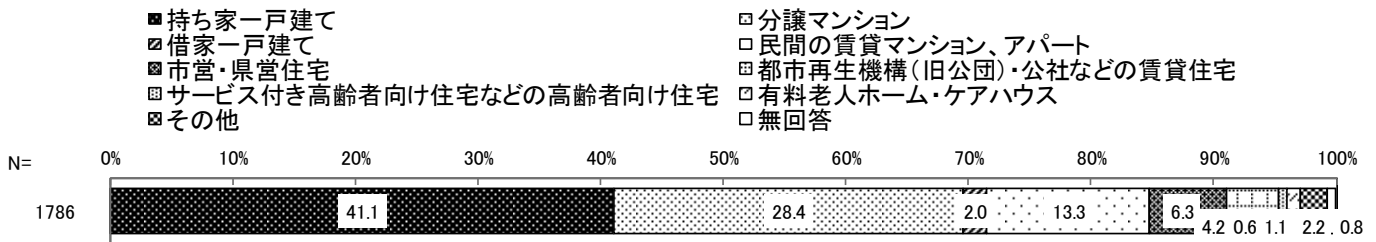
1. 現在の住まいについて

(1) 居住の状況

① 住居形態

問9 あなたのお住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

【図表 3-1-1 住居形態】



住居形態は、「持ち家一戸建て」が41.1%で最も高く、次いで「分譲マンション」が28.4%となっていて、これらを合わせた『持ち家』が69.5%となっている。

【図表 3-1-2 住居形態×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	持ち家一戸建て	分譲マンション	借家一戸建て	民間の賃貸マンション、アパート	市営・県営住宅	UR(旧公団)・公社などの賃貸住宅	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者	有料老人ホーム・ケアハウス	その他	無回答
全体		1786	41.1	28.4	2.0	13.3	6.3	4.2	0.6	1.1	2.2	0.8
性別	男性	775	40.1	29.8	2.6	13.9	5.8	4.3	0.5	0.4	1.8	0.8
	女性	994	41.9	27.6	1.6	12.5	6.5	4.2	0.7	1.7	2.4	0.9
年齢別	60～64歳	328	34.8	34.1	1.8	20.4	4.6	2.4	0.0	0.0	1.8	0.0
	65～69歳	350	37.1	35.4	3.1	14.9	4.0	4.0	0.0	0.0	1.1	0.3
	70～74歳	417	38.6	29.3	1.7	13.7	8.6	5.0	0.0	0.2	1.2	1.7
	75～79歳	300	47.7	25.7	2.0	9.3	6.7	4.7	0.3	1.7	1.3	0.7
	80～84歳	209	51.7	22.0	1.4	9.1	6.7	3.3	1.9	1.0	2.4	0.5
	85～89歳	107	40.2	18.7	0.9	7.5	9.3	7.5	1.9	4.7	7.5	1.9
90歳以上	65	44.6	7.7	3.1	6.2	4.6	4.6	6.2	10.8	10.8	1.5	
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	26.5	19.5	2.7	26.3	9.6	8.0	1.9	2.9	2.7	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	43.8	34.3	1.9	7.6	5.8	4.0	0.0	0.4	0.9	1.4
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	31.7	45.0	2.5	9.2	5.8	5.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	28.0	46.0	3.0	14.0	6.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	45.8	16.7	2.8	13.9	8.3	4.2	1.4	0.0	4.2	2.8
	二世帯同居世帯	308	56.2	23.7	1.0	9.7	3.6	2.6	0.0	0.6	1.9	0.6
	三世帯同居世帯	56	73.2	16.1	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
その他の世帯	114	37.7	29.8	1.8	9.6	6.1	0.9	1.8	1.8	10.5	0.0	

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「分譲マンション」の割合が高くなっており、60～64歳、65～69歳では3割半ばとなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「民間の賃貸マンション、アパート」の割合が他と比べて高くなっている。

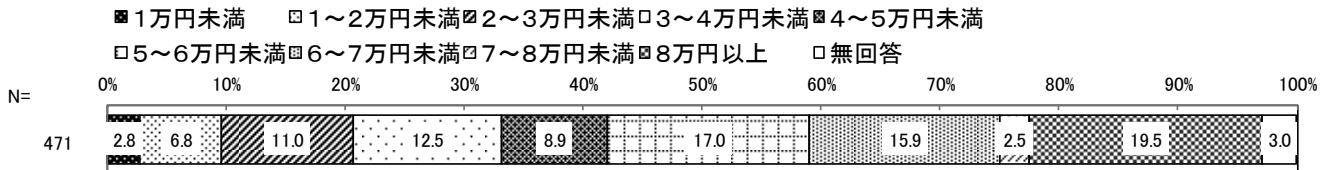
②住まいの1か月の家賃

【問9】で「3」～「7」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたの現在のお住まいの1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。

(○は1つ)

【図表 3-1-3 住まいの1か月の家賃】



住まいの1か月の家賃は、「8万円以上」が19.5%で最も高く、次いで「5～6万円未満」が17.0%、「6～7万円未満」が15.9%となっている。

【図表 3-1-4 住まいの1か月の家賃×性別・年齢別・世帯構成別】

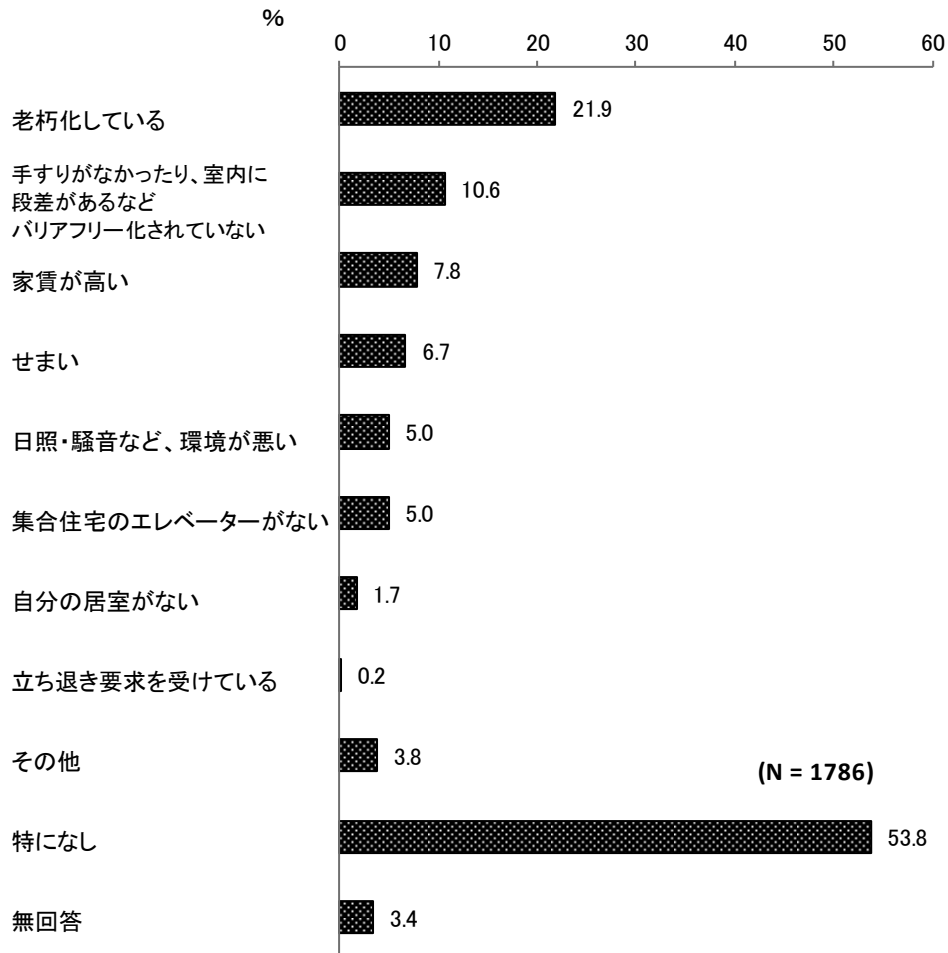
		回答数	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6～7万円未満	7～8万円未満	8万円以上	無回答
全体		471	2.8	6.8	11.0	12.5	8.9	17.0	15.9	2.5	19.5	3.0
性別	男性	210	2.4	4.8	10.0	15.7	10.0	16.7	15.7	2.4	21.9	0.5
	女性	254	2.8	8.3	12.2	10.2	8.3	17.3	15.4	2.8	17.7	5.1
年齢別	60～64歳	96	2.1	2.1	6.3	12.5	9.4	14.6	17.7	4.2	29.2	2.1
	65～69歳	91	0.0	6.6	4.4	12.1	7.7	20.9	18.7	0.0	27.5	2.2
	70～74歳	121	2.5	7.4	18.2	14.9	9.9	14.9	15.7	2.5	13.2	0.8
	75～79歳	69	4.3	11.6	10.1	10.1	10.1	23.2	10.1	2.9	10.1	7.2
	80～84歳	47	0.0	8.5	17.0	17.0	4.3	17.0	17.0	2.1	10.6	6.4
	85～89歳	29	6.9	10.3	13.8	3.4	10.3	6.9	17.2	3.4	27.6	0.0
90歳以上	16	18.8	0.0	6.3	12.5	12.5	12.5	6.3	6.3	18.8	6.3	
世帯構成別	一人暮らし世帯	201	5.0	6.5	10.9	17.9	10.9	16.9	15.4	1.5	10.4	4.5
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	110	1.8	12.7	10.0	8.2	9.1	20.9	12.7	2.7	20.0	1.8
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	27	0.0	0.0	18.5	11.1	11.1	11.1	11.1	3.7	33.3	0.0
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	24	4.2	0.0	12.5	4.2	4.2	12.5	12.5	8.3	41.7	0.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	22	0.0	4.5	9.1	18.2	4.5	13.6	22.7	0.0	22.7	4.5
	二世帯同居世帯	52	0.0	5.8	5.8	9.6	7.7	13.5	23.1	3.8	26.9	3.8
	三世帯同居世帯	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0
	その他の世帯	23	0.0	4.3	17.4	4.3	4.3	21.7	8.7	4.3	34.8	0.0

世帯構成別にみると、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯では「3～4万円未満」「4～5万円未満」の割合が、他の夫婦だけで暮らす世帯と比べて低くなっており、一方で「7～8万円未満」「8万円以上」の割合は、他の夫婦だけで暮らす世帯と比べて高くなっている。

(2) 住まいの困りごと

問 10 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-2-1 住まいの困りごと】



現在の住まいで困っていることは、「特になし」が 53.8%で最も高くなっており、半数以上が今のところ住居に不便を感じていない。困っていることは、「老朽化している」が 21.9%で最も高く、次いで「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が 10.6%となっている。

【図表 3-2-2 住まいの困りごと×性別・年齢別・健康状態別・住居形態別】

		回答数	せまい	老朽化している	室内に段差があるなど、バリアフリー化されていない	手すりがなかったり、室内に段差があるなど、環境が悪い	日照・騒音など、環境が悪い	家賃が高い	立ち退き要求を受けている	自分の居室がない	集合住宅のエレベーターがない	その他	特になし	無回答
全体		1786	6.7	21.9	10.6	5.0	7.8	0.2	1.7	5.0	3.8	53.8	3.4	
性別	男性	775	7.9	23.4	10.3	5.3	7.7	0.3	2.5	5.2	3.1	52.0	3.1	
	女性	994	5.8	20.8	11.0	4.8	7.6	0.2	1.2	4.8	4.3	55.4	3.7	
年齢別	60～64歳	328	8.5	21.3	8.8	7.0	8.8	0.0	1.2	3.4	4.6	55.5	1.5	
	65～69歳	350	7.7	23.7	8.9	4.9	9.7	0.0	2.6	5.4	2.9	53.7	1.4	
	70～74歳	417	7.9	23.3	9.1	5.3	6.5	0.2	1.9	6.5	4.6	51.6	4.6	
	75～79歳	300	5.0	20.3	13.7	5.0	7.3	0.7	1.7	4.7	3.3	54.3	4.7	
	80～84歳	209	6.7	23.4	15.8	5.3	6.7	0.5	2.4	6.2	2.9	49.8	2.4	
	85～89歳	107	2.8	14.0	8.4	0.9	10.3	0.0	0.0	2.8	5.6	61.7	6.5	
健康状態別	90歳以上	65	0.0	20.0	12.3	0.0	3.1	0.0	0.0	4.6	1.5	60.0	9.2	
	健康である	892	5.2	18.4	7.7	3.4	7.2	0.1	1.0	4.4	3.3	60.4	2.1	
	外出はひとりでできる	715	9.1	27.0	13.4	7.1	8.7	0.3	2.7	6.3	3.8	46.9	3.9	
	外出はひとりでできない	96	4.2	19.8	15.6	4.2	3.1	0.0	2.1	6.3	4.2	54.2	8.3	
	ベッドでの生活が主体	37	10.8	32.4	18.9	2.7	8.1	0.0	2.7	0.0	2.7	43.2	5.4	
一日中ベッドの上	17	0.0	11.8	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8	52.9	0.0		
住居形態別	持ち家一戸建て	734	3.3	26.8	13.4	5.4	0.0	0.1	1.0	0.0	4.6	56.1	4.0	
	分譲マンション	507	6.1	14.4	9.3	3.6	0.8	0.0	1.8	7.1	1.8	64.7	3.0	
	借家一戸建て	36	11.1	41.7	8.3	5.6	33.3	0.0	0.0	0.0	2.8	38.9	2.8	
	民間の賃貸マンション、アパート	237	14.8	22.4	9.3	6.8	32.9	0.0	3.8	8.9	3.8	38.0	1.3	
	市営・県営住宅	112	6.3	24.1	12.5	6.3	11.6	0.0	1.8	15.2	3.6	44.6	3.6	
	都市再生機構(旧公団)・公社などの賃貸住宅	75	12.0	20.0	8.0	5.3	37.3	4.0	4.0	17.3	2.7	26.7	0.0	
	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	11	9.1	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	0.0	
	有料老人ホーム・ケアハウス	20	15.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	0.0	
	その他	39	12.8	15.4	0.0	5.1	0.0	0.0	2.6	5.1	12.8	66.7	5.1	

年齢別にみると、60～84歳では、年齢が高くなるほど「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」の割合が高くなっている。

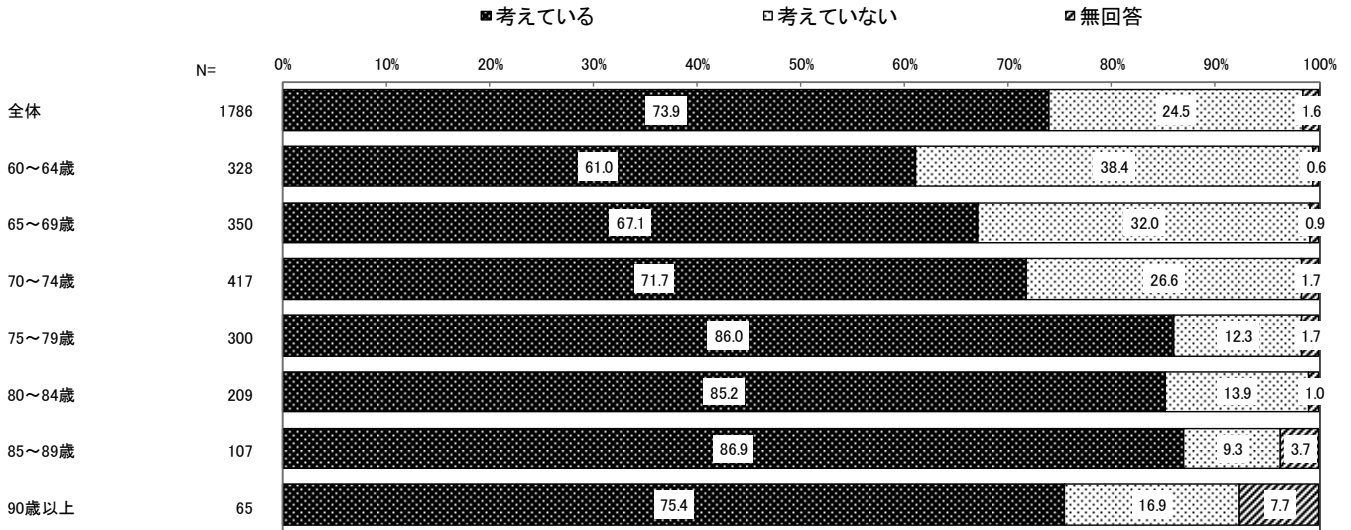
住居形態別にみると、借家一戸建てでは「老朽化している」「家賃が高い」の割合が、民間の賃貸マンション、アパート、UR（都市再生機構（旧公団））・公社などの賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅では「家賃が高い」の割合が他と比べて高くなっている。

(3) 住み替え

①現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向

問 11 あなたは、現在のお住まいに、亡くなるまで住み続けたいと考えていますか。
(○は1つ)

【図表 3-3-1 現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向×年齢別】



現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向は、「考えている」が 73.9%、「考えていない」が 24.5%となっている。

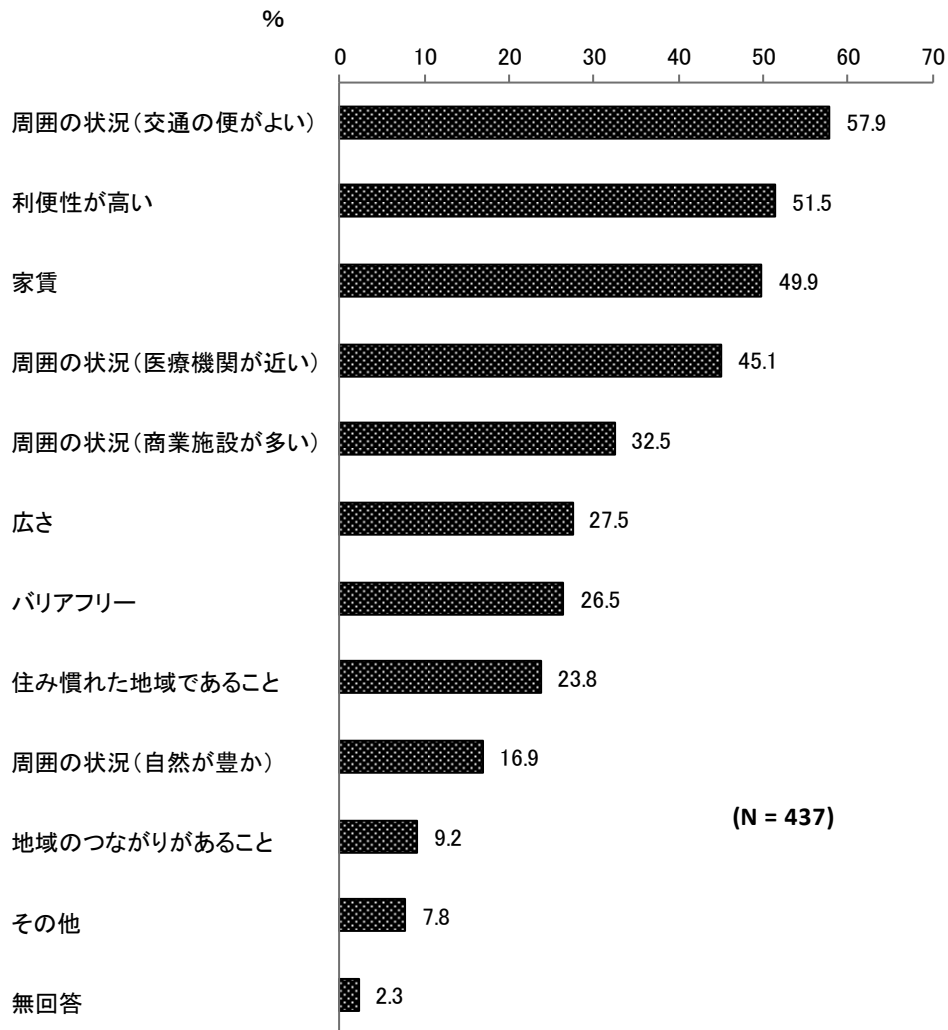
年齢別にみると、60～89歳では年齢が高くなるほど「考えている」の割合が高くなる傾向があり、85～89歳では 86.9%となっている。

② 住み替え時に重視すること

【問 11】で「2」と答えた方にうかがいます。

問 11-1 あなたは、住み替え時にはどんな事を重視して住まいを選びますか。
(〇はいくつでも)

【図表 3-3-2 住み替え時に重視すること】



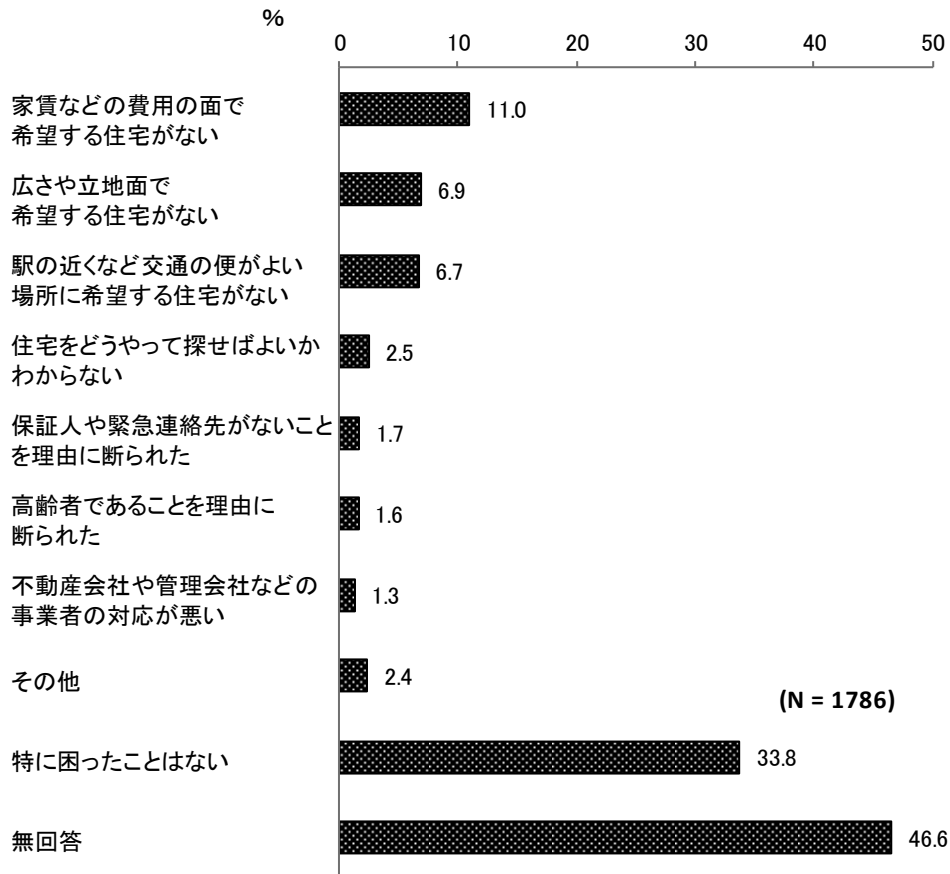
現在の住まいに亡くなるまで住み続ける意向のない人が住み替え時に重視することは、「周囲の状況(交通の便がよい)」が 57.9%で最も高く、次いで「利便性が高い」が 51.5%、「家賃」が 49.9%となっている。

(4) 住み替えで困ったこと

これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます。

問 12 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-4-1 住み替えで困ったこと】



住み替えで困ったことは、「特に困ったことはない」が 33.8%で最も高く、次いで「家賃などの費用の面で希望する住宅がない」が 11.0%、「広さや立地面で希望する住宅がない」が 6.9%、「駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない」が 6.7%となっている。

【図表 3-4-2 住み替えて困ったこと×世帯構成別】

		回答数	いせ住ば宅よをいどわかやわかってな探	いで家賃などの住費用がな面	す広さや立地面で希望	す便駅の近くなど交通の希望	応社不などが悪いの会社や業者の管理対会	理高齡者に断られたことを	断が保られないことや緊急連絡に先	その他	い特に困ったことはな	無回答
全体		1786	2.5	11.0	6.9	6.7	1.3	1.6	1.7	2.4	33.8	46.6
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	4.3	17.6	6.5	7.2	1.4	3.9	3.6	4.1	32.3	41.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	1.8	5.8	5.6	4.6	0.9	0.9	0.5	1.8	33.4	52.9
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	1.7	9.2	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	2.5	40.8	41.7
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	1.0	17.0	17.0	12.0	2.0	0.0	2.0	1.0	42.0	28.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	1.4	9.7	12.5	9.7	1.4	1.4	1.4	1.4	30.6	51.4
	二世帯同居世帯	308	2.3	9.4	5.2	6.5	1.0	1.3	1.0	2.3	31.8	50.6
	三世帯同居世帯	56	1.8	3.6	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	1.8	33.9	50.0
	その他の世帯	114	3.5	17.5	6.1	9.6	2.6	2.6	4.4	2.6	36.8	36.0

世帯構成別にみると、夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯では「広さや立地面で希望する住宅がない」「駅の近くなど交通の便がよい場所に希望する住宅がない」の割合が他と比べて高くなっている。

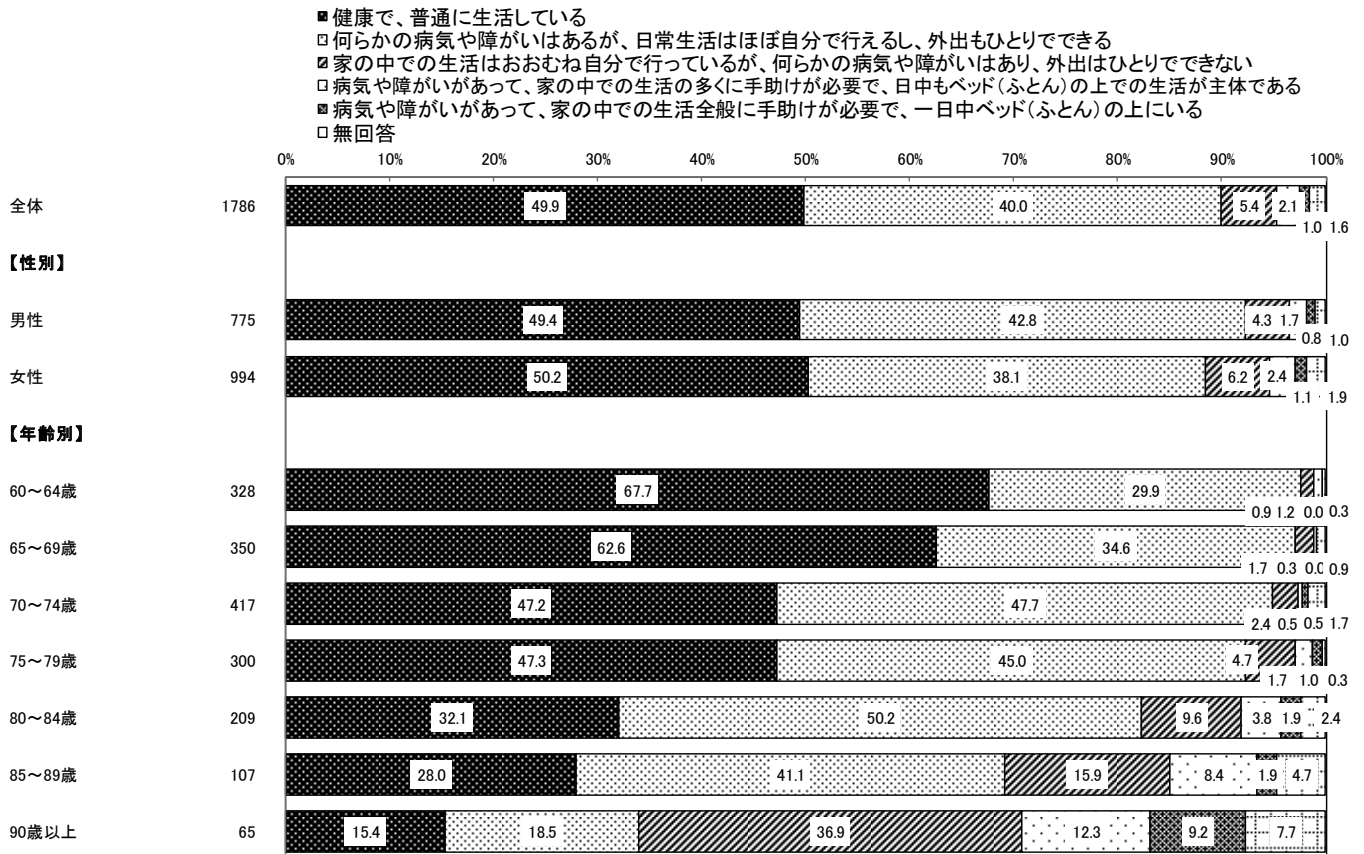
2. 健康・福祉などについて

(1) 健康状態と運動習慣

①健康状態

問 13 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

【図表 3-5-1 健康状態×性別・年齢別】



健康状態は、「健康で、普通に生活している」が 49.9%、「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりできる」が 40.0%となっており、合わせて 89.9%の人が自立した生活を送っている。

性別にみると、男性の方が女性より「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりできる」の割合が高くなっている。

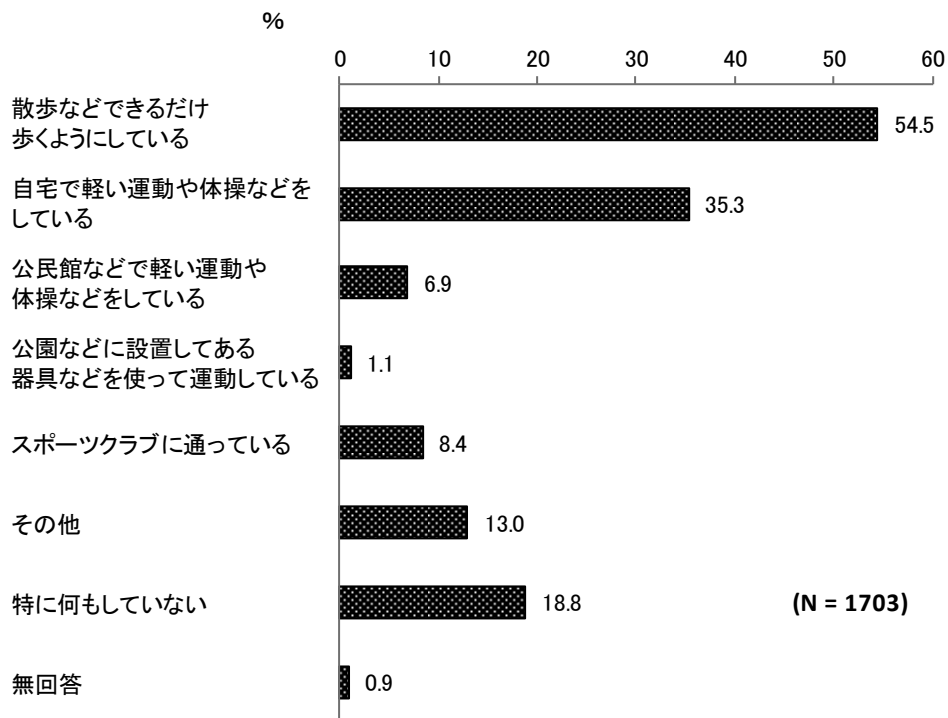
年齢別にみると、年齢が高くなるほど自立した生活をしている人の割合が低くなっている。

②運動習慣

【問13】で「1」～「3」と答えた方にかがいます。

問 13-1 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-2 運動習慣】



運動習慣は、「散歩などできるだけ歩くようにしている」が 54.5%で最も高く、次いで「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が 35.3%、「特に何もしていない」が 18.8%となっている。

【図表 3-5-3 運動習慣×性別・年齢別】

			歩散 く歩 よな うど にで きる だけ るけ	操自 など を軽 して 運 動 や 体	い動 るや 体 館 な ど を 軽 し て 運	て公 運園 動器 し具 てに る置 を使 して て	通ス ポ ー ツ ク ラ ブ に	そ の 他	特 に 何 も し て い な い	無 回 答
全体		1703	54.5	35.3	6.9	1.1	8.4	13.0	18.8	0.9
性別	男性	748	54.4	31.6	2.5	1.5	6.8	15.5	21.0	0.3
	女性	940	54.8	38.3	10.4	0.9	9.7	11.0	16.9	1.4
年齢別	60～64歳	324	45.7	26.9	3.4	0.6	10.5	12.7	26.5	0.0
	65～69歳	346	51.4	35.0	8.4	1.4	12.7	11.3	20.8	0.0
	70～74歳	406	60.3	36.9	4.7	0.5	7.6	11.8	17.0	1.5
	75～79歳	291	61.9	38.1	7.9	1.7	7.2	12.7	16.8	1.4
	80～84歳	192	58.9	40.1	13.0	1.0	4.2	14.1	12.0	1.6
	85～89歳	91	51.6	36.3	8.8	3.3	3.3	23.1	11.0	1.1
	90歳以上	46	28.3	39.1	4.3	0.0	2.2	15.2	21.7	4.3

性別にみると、女性の方が男性より「自宅で軽い運動や体操などを行っている」「公民館などで軽い運動や体操などを行っている」「スポーツクラブに通っている」の割合が高くなっている。

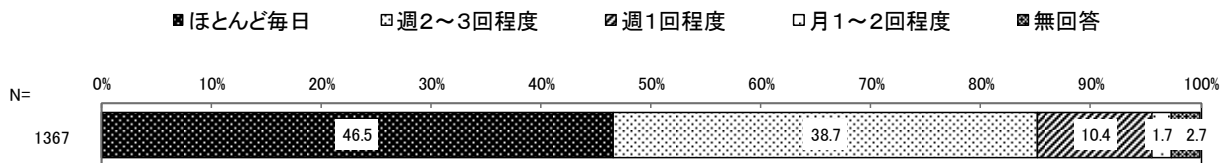
年齢別にみると、60～64歳では、「自宅で軽い運動や体操などを行っている」が26.9%で他と比べて低く、次いで「特に何もしていない」が26.5%で、他と比べて高い結果になった。一方、90歳以上では、外出を要する運動の割合は低いが、「自宅で軽い運動や体操などを行っている」の割合では、80～84歳を除くすべての年代を上回っている。

③運動頻度

【問 13-1】で「1」～「6」と答えた方にかがいます。

問 13-2 それほどのくらいの頻度でしていますか。(○は1つ)

【図表 3-5-4 運動頻度】



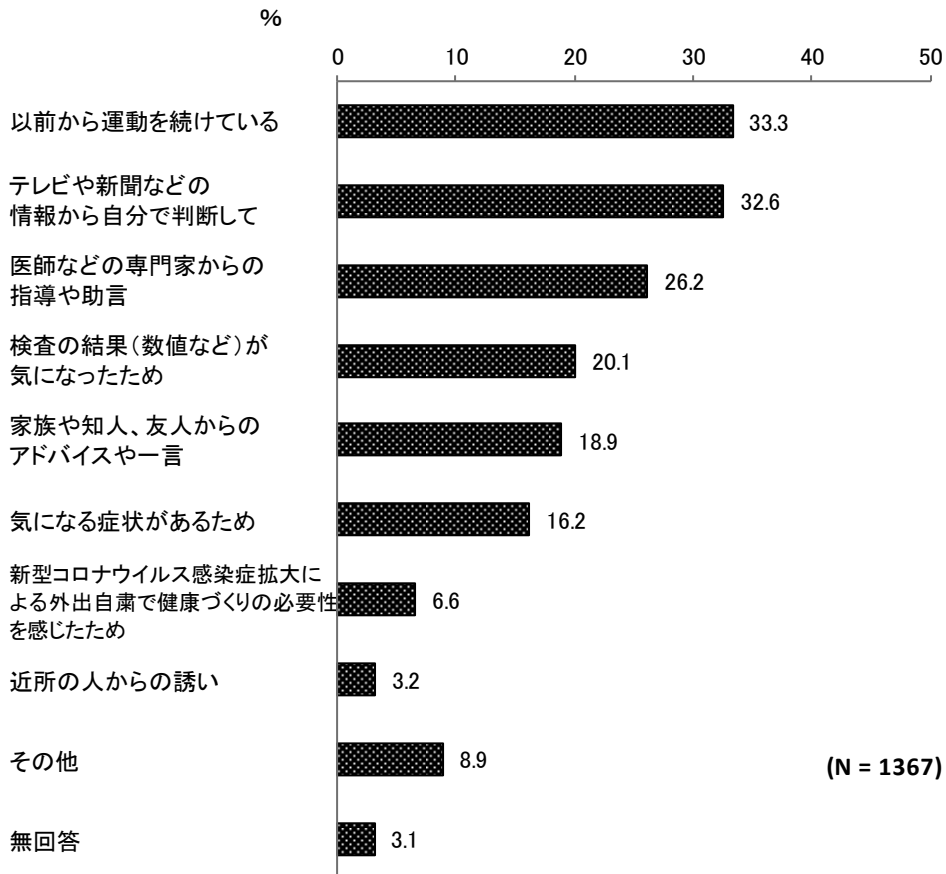
運動頻度は、「ほとんど毎日」が 46.5%で最も高く、次いで「週 2～3 回程度」が 38.7%、「週 1 回程度」が 10.4%となっている。

④運動に取り組むきっかけ

【問 13-1】で「1」～「6」と答えた方にかがいます。

問 13-3 健康づくりや介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-5 運動に取り組むきっかけ】



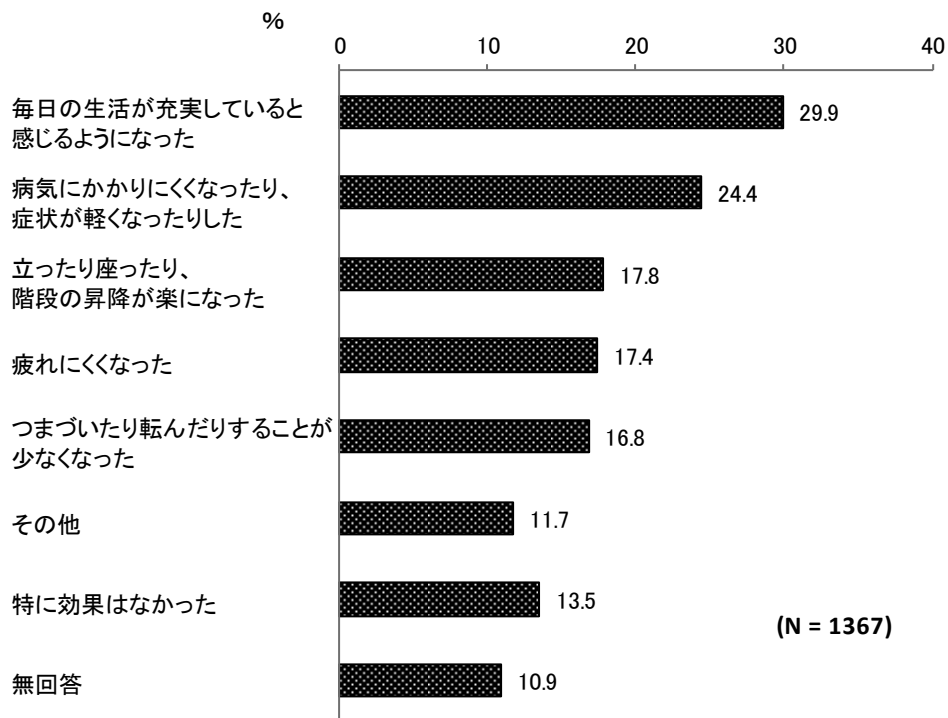
運動に取り組むきっかけは、「以前から運動を続けている」が 33.3%で最も高く、次いで「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 32.6%、「医師などの専門家からの指導や助言」が 26.2%となっている。

⑤運動の効果

【問13-1】で「1」～「6」と答えた方にかかっています。

問13-4 健康づくりや介護予防のために何か運動に取り組むことで、どのような効果があったと感じていますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-6 運動の効果】



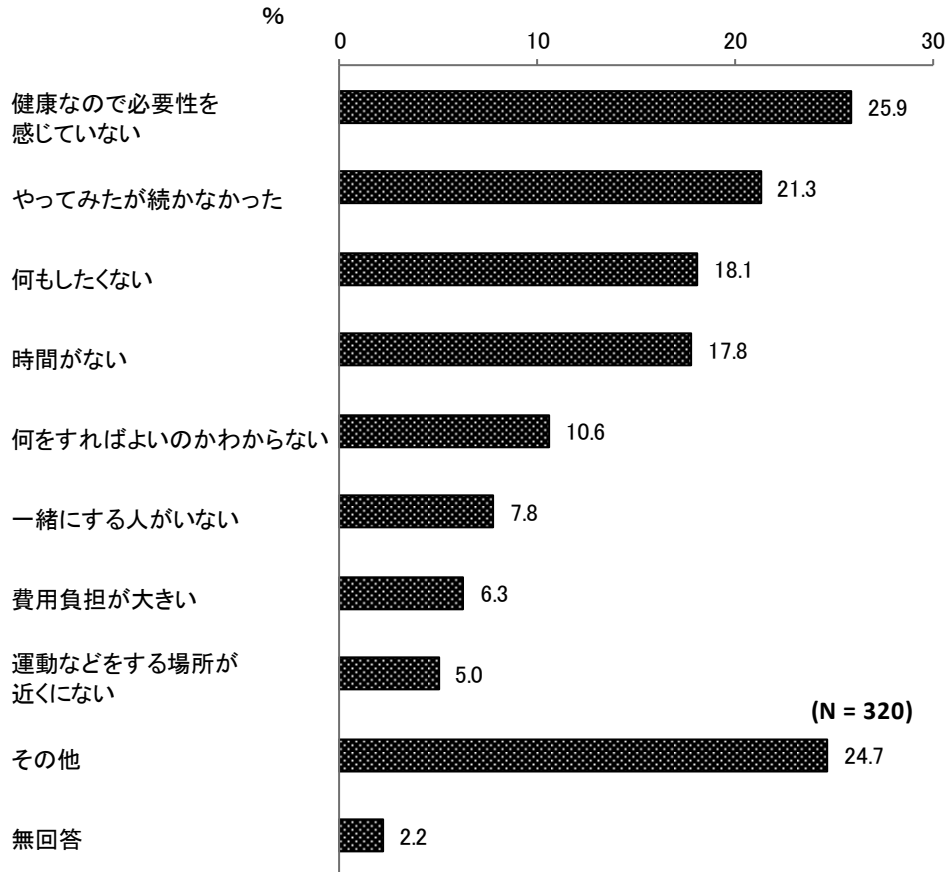
運動の効果は、「毎日の生活が充実していると感じるようになった」が29.9%で最も高く、次いで「病気にかかりにくくなったり、症状が軽くなったりした」が24.4%となっている。

⑥運動をしていない理由

【問 13-1】で「7」と答えた方にうかがいます。

問 13-5 何もしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5-7 運動をしていない理由】



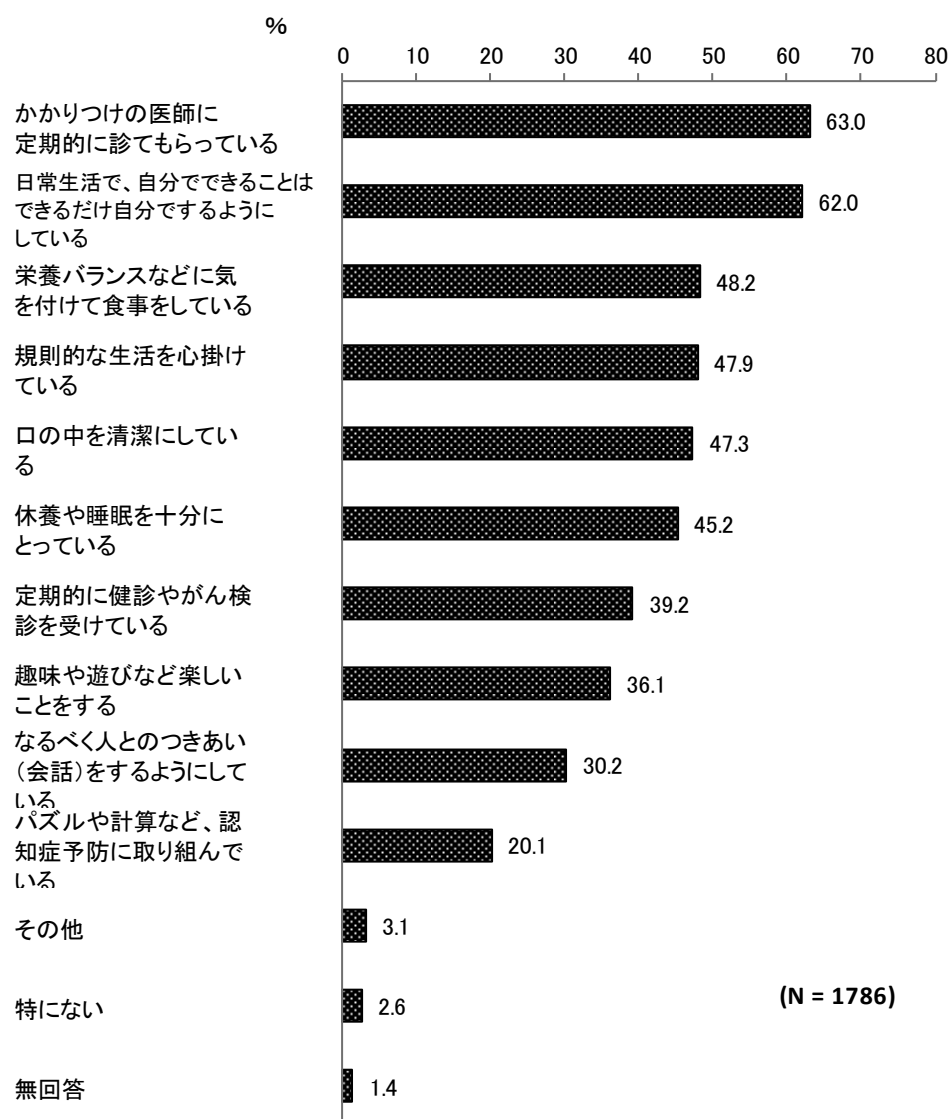
運動をしていない理由は、全体で「健康なので必要性を感じていない」が 25.9%で最も高く、次いで「やってみたが続かなかった」が 21.3%、「何もしたくない」が 18.1%となっている。

(2) 運動以外の健康づくり習慣

①運動以外で気を付けていること

問 14 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。
(〇はいくつでも)

【図表 3-6-1 運動以外で気を付けていること】



運動以外で気を付けていることは、「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」が63.0%で最も高く、次いで「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でしている」が62.0%となっている。

【図表 3-6-2 運動以外で気を付けていること×性別・年齢別・健康状態別】

		回答数	定期的に診てもらっているかかりつけの医師に検診を受けている	定期的に健康診断を受けている	日常生活で、自分でできることはできるようにしている	口の中を清潔にしている	休養や睡眠を十分に取っている	規則的な生活を心掛けている
全体		1786	63.0	39.2	62.0	47.3	45.2	47.9
性別	男性	775	64.5	42.1	53.4	38.8	44.6	44.8
	女性	994	61.8	37.1	68.8	54.3	45.9	50.6
年齢別	60～64歳	328	51.2	49.4	53.0	48.2	42.1	43.6
	65～69歳	350	53.4	45.7	60.6	46.9	46.3	50.0
	70～74歳	417	68.3	41.0	65.2	47.7	45.8	51.6
	75～79歳	300	67.7	36.7	64.3	48.3	44.7	49.7
	80～84歳	209	72.7	29.7	65.6	49.8	46.4	48.3
	85～89歳	107	72.9	20.6	72.9	50.5	53.3	44.9
	90歳以上	65	72.3	15.4	56.9	30.8	38.5	32.3
健康状態別	健康である	892	49.4	43.5	62.6	49.1	49.2	53.1
	外出はひとりできる	715	78.2	39.0	65.6	49.7	41.5	45.2
	外出はひとりできない	96	72.9	14.6	59.4	30.2	46.9	38.5
	ベッドでの生活が主体	37	73.0	18.9	24.3	35.1	43.2	29.7
	一日中ベッドの上	17	58.8	5.9	17.6	17.6	11.8	5.9

		栄養バランスなどを気に付けて食事などに	パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる	趣味や遊びなど楽しいことをする	なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている	その他	特にない	無回答
全体		48.2	20.1	36.1	30.2	3.1	2.6	1.4
性別	男性	40.3	14.7	35.6	20.8	2.5	3.5	1.9
	女性	54.2	24.4	36.6	37.7	3.6	1.9	0.9
年齢別	60～64歳	50.6	14.0	40.5	23.2	2.4	3.7	0.9
	65～69歳	50.0	17.7	40.6	33.7	2.9	3.1	0.6
	70～74歳	47.7	24.0	38.1	28.5	3.8	1.4	1.4
	75～79歳	49.7	23.3	35.7	32.0	3.0	3.0	1.7
	80～84歳	46.4	23.4	32.5	34.9	2.4	1.9	1.4
	85～89歳	46.7	19.6	24.3	37.4	1.9	0.9	2.8
	90歳以上	33.8	16.9	10.8	23.1	4.6	4.6	3.1
健康状態別	健康である	53.3	20.7	44.4	32.7	3.4	3.1	1.0
	外出はひとりできる	44.8	20.3	32.6	30.5	2.2	1.1	1.3
	外出はひとりできない	38.5	22.9	8.3	20.8	2.1	2.1	1.0
	ベッドでの生活が主体	35.1	5.4	5.4	5.4	8.1	8.1	0.0
	一日中ベッドの上	35.3	5.9	5.9	11.8	17.6	29.4	0.0

性別にみると、女性の方が男性より「日常生活で、自分でできることはできるだけ自分でするようにしている」「口の中を清潔にしている」「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「パズルや計算など、認知症予防に取り組んでいる」「なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている」の割合が高くなっている。

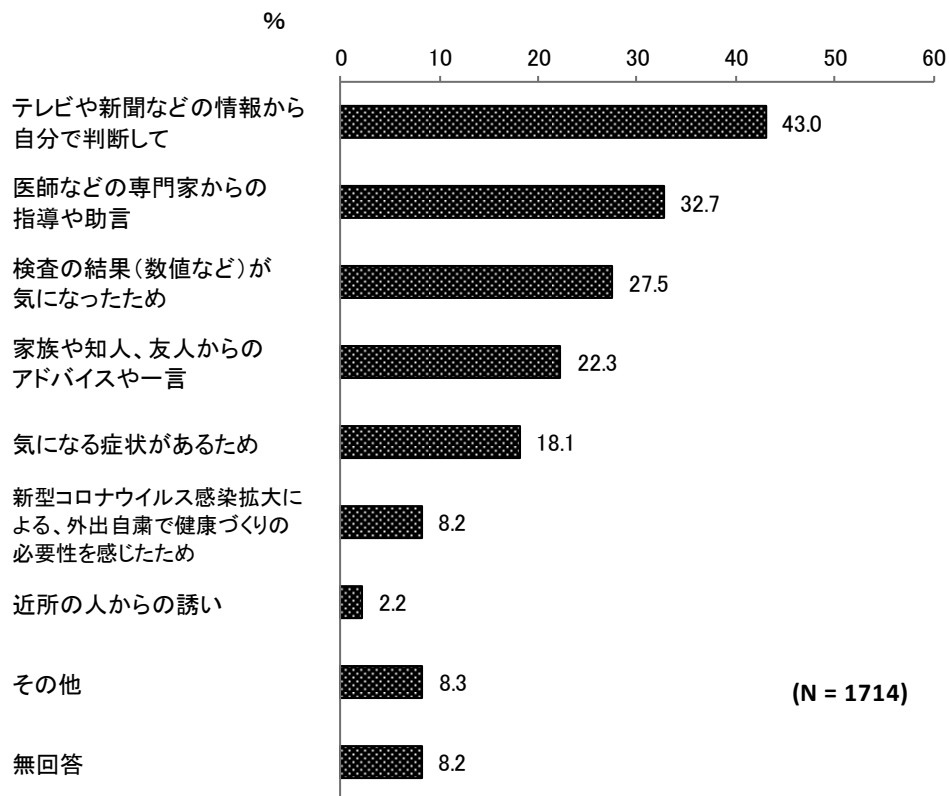
健康状態別にみると、健康状態が良い人ほど「規則的な生活を心掛けている」「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「趣味や遊びなど楽しいことをする」「なるべく人とのつきあい（会話）をするようにしている」の割合が高くなっている。

②運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ

【問14】で「1」～「11」と答えた方にうかがいます。

問14-1 健康づくりや介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-6-3 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ】



運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が43.0%で最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が32.7%、「検査の結果(数値など)が気になったため」が27.5%となっている。

【図表 3-6-4 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ×性別・年齢別】

		回答数	医師などの専門家からの指導や助言	テレビや新聞などの情報から自分で判断して	家族や友人からの誘い	近所の人からの誘い	検査の結果(数値など)が気になったため	気になる症状があるため	新型コロナウイルスによる健康被害を感じたり	その他	無回答
全体		1714	32.7	43.0	22.3	2.2	27.5	18.1	8.2	8.3	8.2
性別	男性	733	38.7	37.8	20.9	0.7	33.8	19.9	6.5	8.0	6.5
	女性	966	27.8	47.0	23.4	3.3	23.0	16.9	9.5	8.6	9.4
年齢別	60～64歳	313	32.3	40.6	19.5	1.6	38.3	19.5	6.1	8.6	3.2
	65～69歳	337	27.0	45.1	21.1	1.2	26.1	18.1	6.2	11.6	7.7
	70～74歳	405	35.6	45.7	24.2	1.2	33.8	20.5	11.1	6.4	5.7
	75～79歳	286	31.8	43.0	21.3	2.4	22.7	15.7	7.0	7.7	14.0
	80～84歳	202	35.1	47.5	27.2	5.9	19.3	17.8	6.9	7.9	8.4
	85～89歳	103	33.0	32.0	21.4	2.9	15.5	16.5	14.6	5.8	18.4
	90歳以上	60	41.7	26.7	23.3	1.7	8.3	10.0	8.3	10.0	8.3

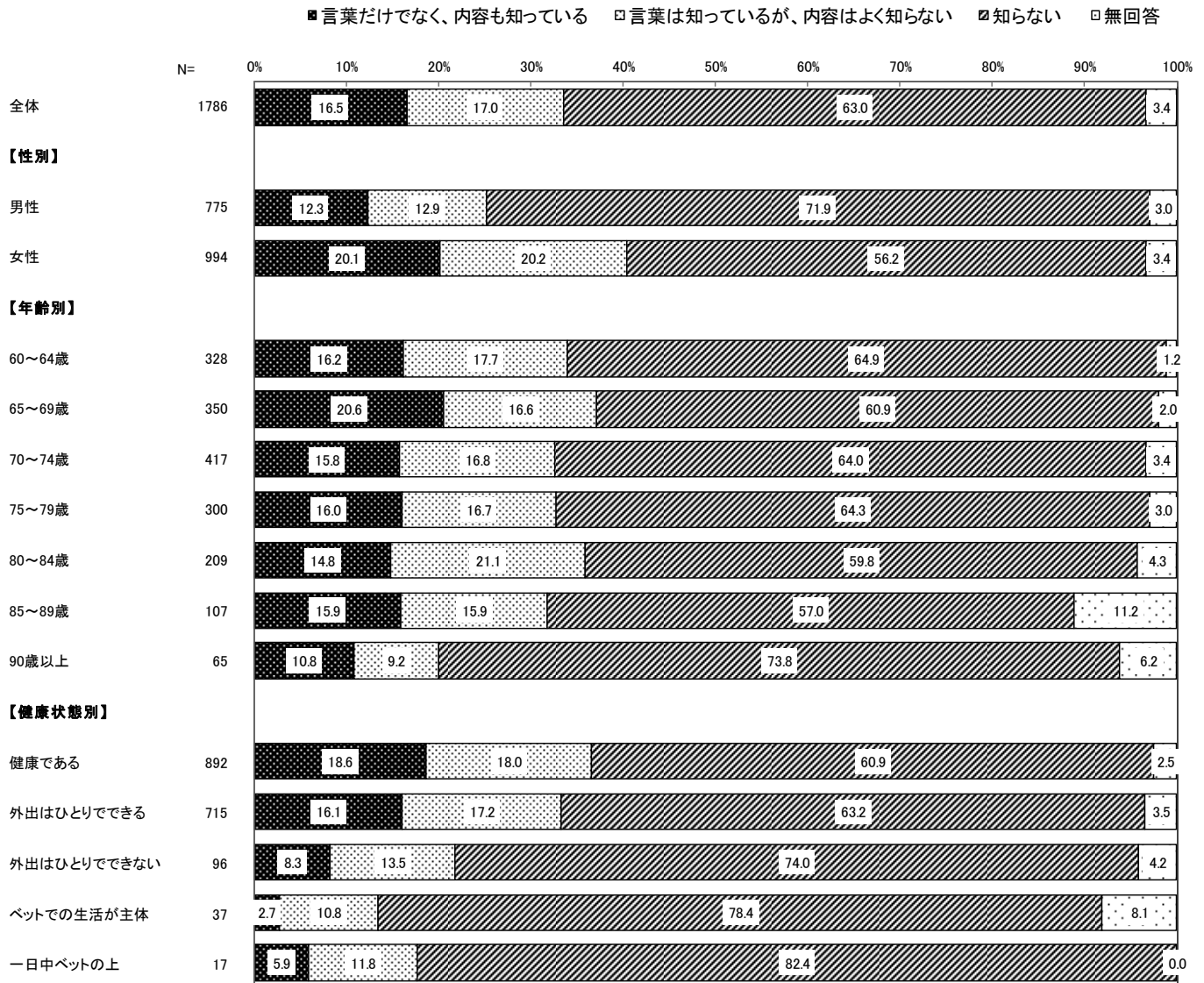
性別にみると、男性の方が女性より「医師などの専門家からの指導や助言」「検査の結果(数値など)が気になったため」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「医師などの専門家からの指導や助言」の割合が4割を超え、他と比べて高くなっている。

(3) フレイルの認知度

問15 「フレイル」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

【図表 3-7-1 フレイルの認知度×性別・年齢別】



フレイルの認知度は、「知らない」が63.0%で最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が17.0%、「言葉だけでなく、内容も知っている」が16.5%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「知らない」の割合が高くなっている。

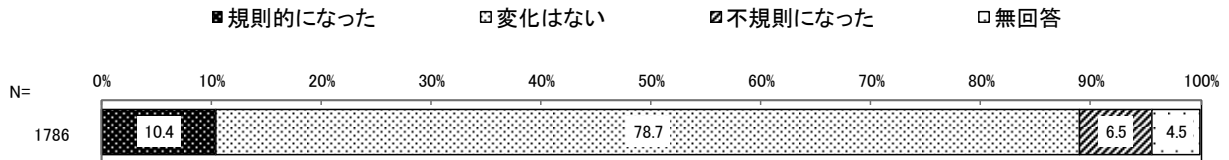
年齢別にみると、90歳以上では「知らない」の割合が他と比べて高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態が良い人ほど「知らない」の割合が低くなっており、健康である人と一日中ベッドの上の人とでは、21.5ポイントの差があった。

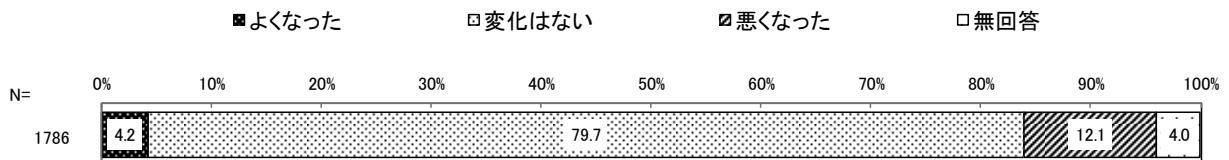
(4) 直近2年間の生活・体調の変化

問 16 直近2年間（新型コロナウイルス感染拡大後）で、生活や体調等で感じた変化はありますか。（項目ごとに○は1つ）

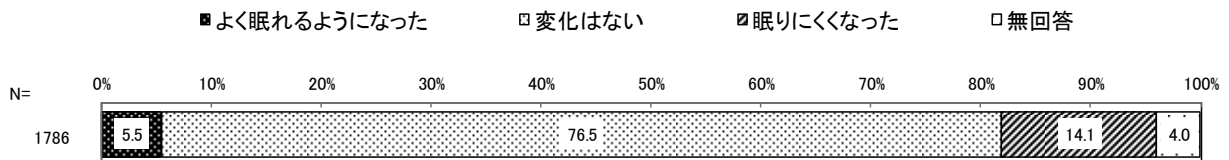
【図表 3-8-1 直近2年間の生活・体調の変化/生活リズム】



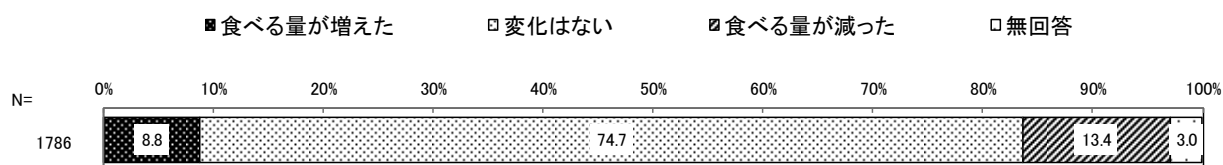
【図表 3-8-2 直近2年間の生活・体調の変化/体調】



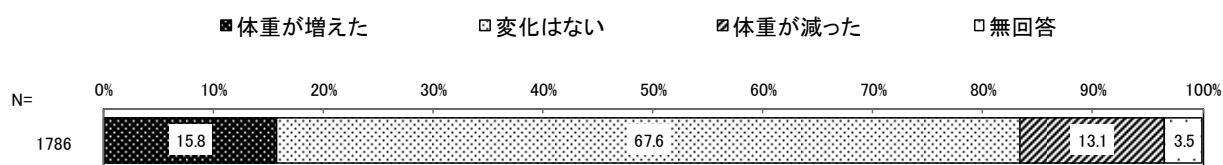
【図表 3-8-3 直近2年間の生活・体調の変化/睡眠】



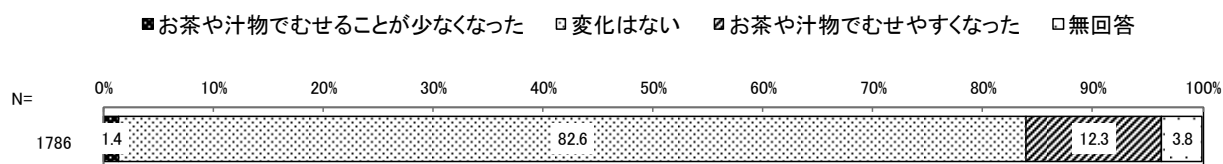
【図表 3-8-4 直近2年間の生活・体調の変化/食べる量】



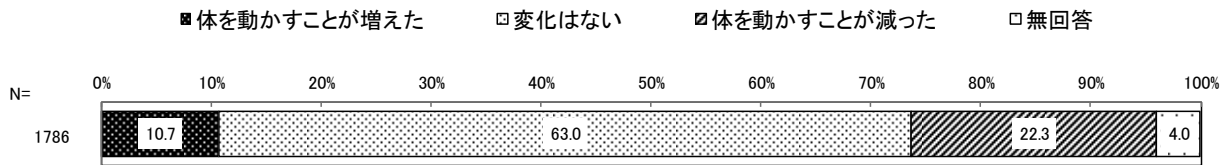
【図表 3-8-5 直近2年間の生活・体調の変化/体重】



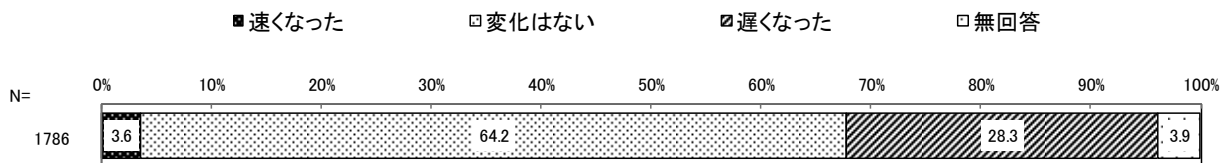
【図表 3-8-6 直近2年間の生活・体調の変化/口腔（飲み込み）】



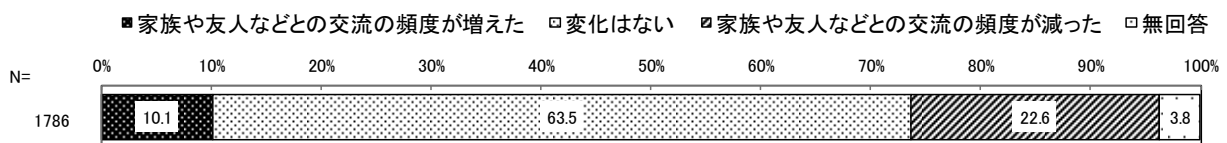
【図表 3-8-7 直近2年間の生活・体調の変化/運動】



【図表 3-8-8 直近2年間の生活・体調の変化/歩く速度】



【図表 3-8-9 直近2年間の生活・体調の変化/交流】



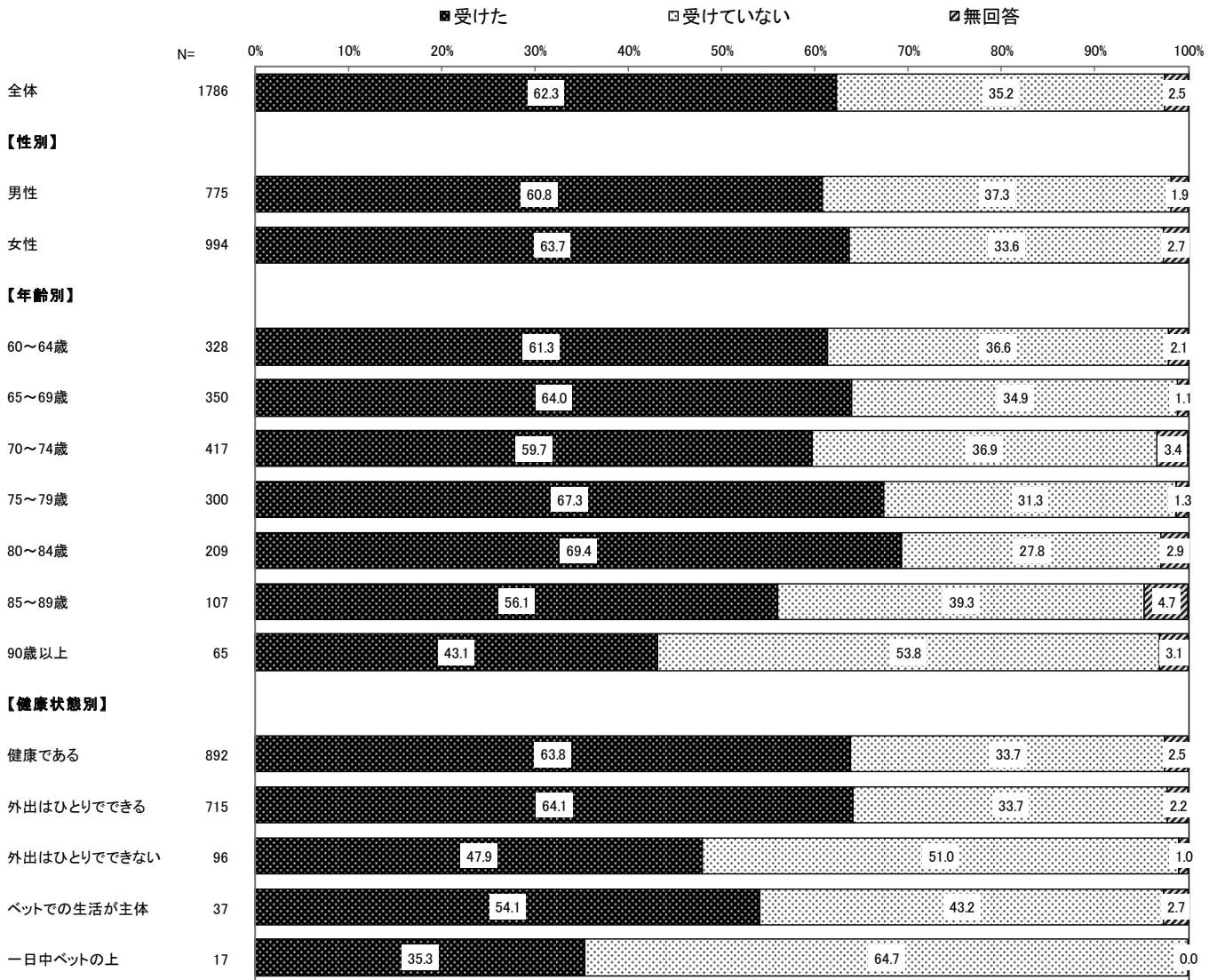
直近2年間（新型コロナウイルス感染拡大後）で感じた生活・体調の変化について、各項目において「変化はない」が63.0%から82.6%と最も高くなっている。

感じた変化が大きかった主な項目として、運動については、「体を動かすことが減った」が22.3%、歩く速度については、「遅くなった」が28.3%、交流については、「家族や友人などとの交流の頻度が減った」が22.6%となっている。

(5) 歯科の定期健診の有無

問 17 あなたは、この1年間に、歯科の定期健診を受けましたか。(○は1つ)

【図表 3-9-1 歯科の定期健診の有無×性別・年齢別・健康状態別】



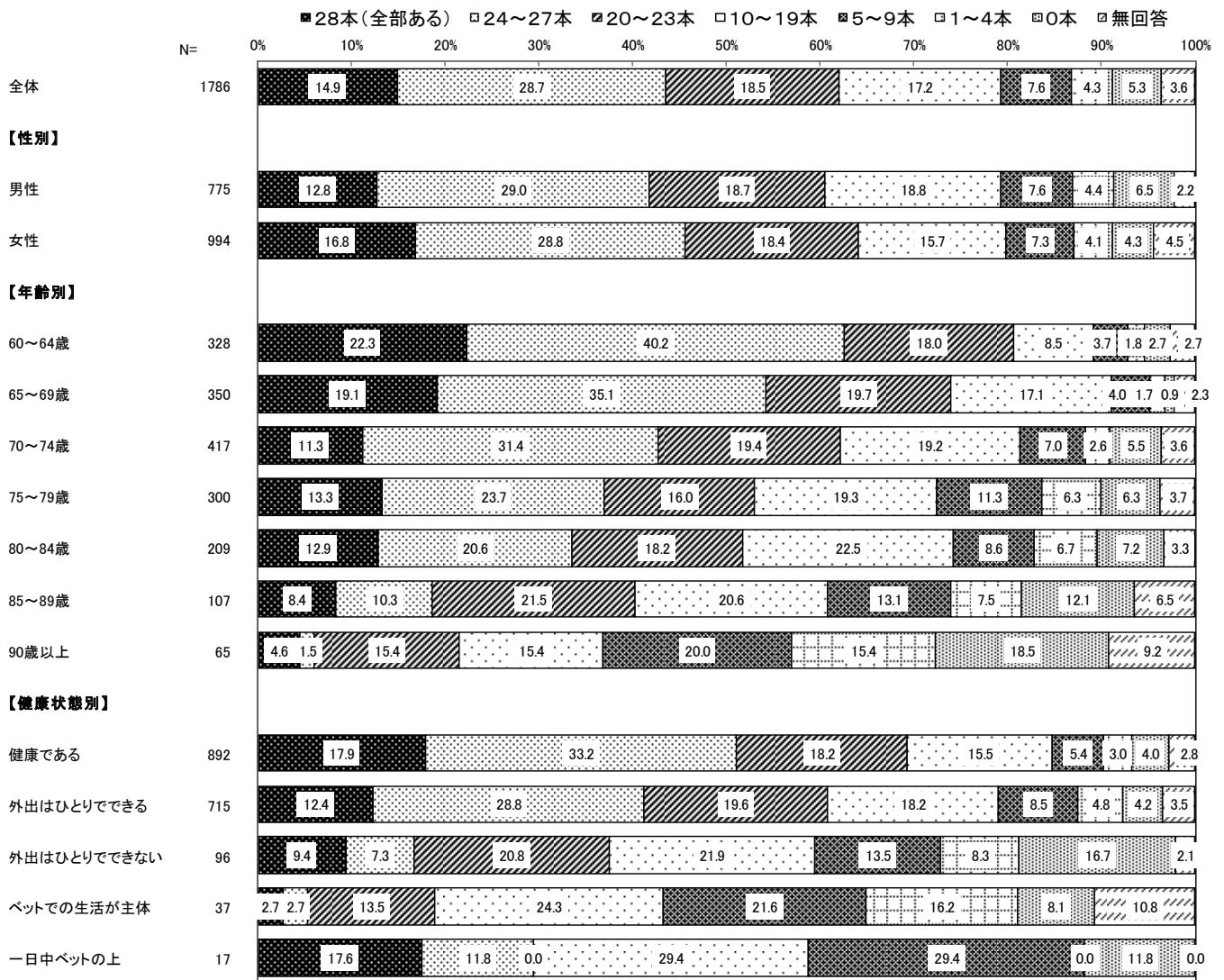
歯科の定期健診の有無は、「受けた」が62.3%、「受けていない」が35.2%となっている。年齢別にみると、90歳以上では「受けていない」の割合が53.8%であり、「受けた」の割合を10.7ポイント上回る結果となった。

健康状態別にみると、一日中ベッドの上の人は「受けていない」の割合が64.7%であり、健康である人の33.7%と比べて、31.0ポイントと大きな差が出る結果となった。

(6) 歯の本数

問 18 あなた自身の歯は何本ありますか。親知らず、入れ歯、ブリッジ（取り外しできない入れ歯）、インプラントは含みません。さし歯や金属をかぶせた歯はあなた自身の歯として数えます。（〇は1つ）

【図表 3-10-1 歯の本数×性別・年齢別・健康状態別】



歯の本数は、「24～27本」が28.7%で最も高く、次いで「20～23本」が18.5%、「10～19本」が17.2%となっている。

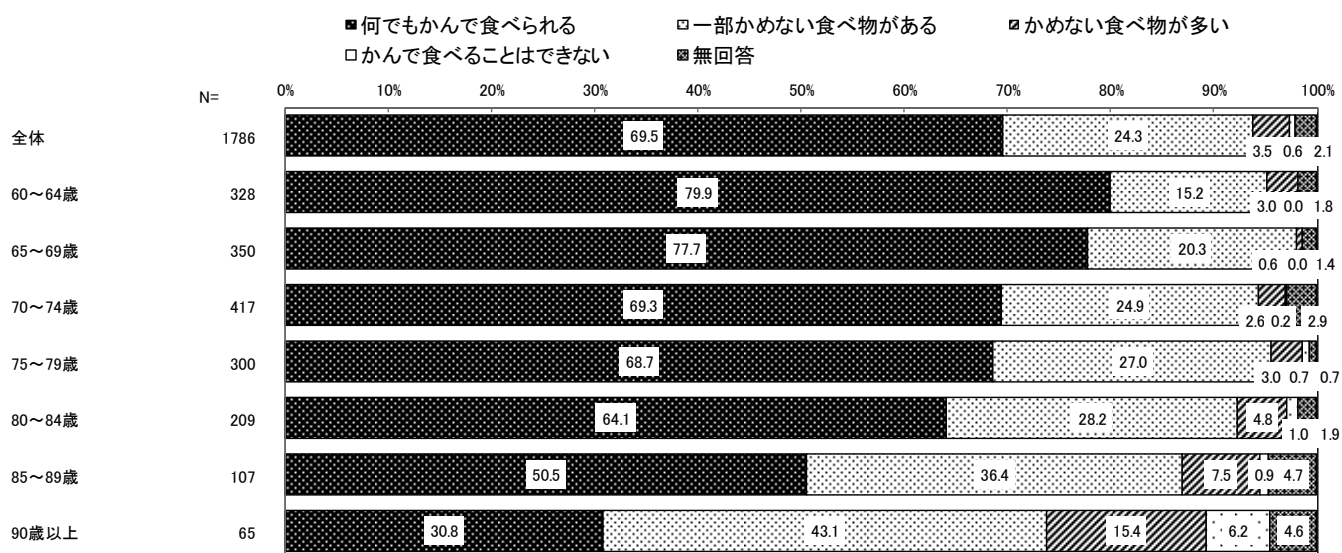
年齢別にみると、年齢が高くなるほど歯の本数は減少傾向にある。

健康状態別にみると、健康であるほど歯の本数も多い傾向がある。

(7) 咀嚼の状況

問 19 あなたは、どの程度、かんで食べることができますか。(○は1つ)

【図表 3-11-1 咀嚼の状況×年齢別】



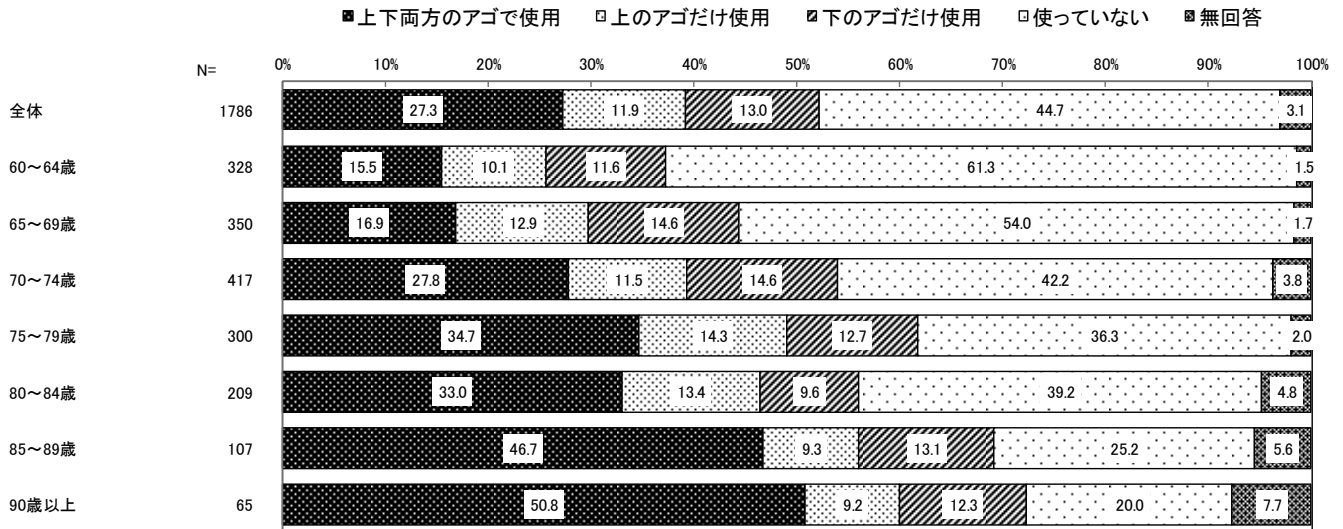
咀嚼の状況は、「何でもかんで食べられる」が69.5%で最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が24.3%、「かめない食べ物が多い」が3.5%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何でもかんで食べられる」の割合は低くなる傾向があり、90歳以上では30.8%となっている。

(8) 入れ歯・ブリッジの使用状況

問 20 あなたは、入れ歯やブリッジを使っていますか。(○は1つ)

【図表 3-12-1 入れ歯・ブリッジの使用状況×年齢別】



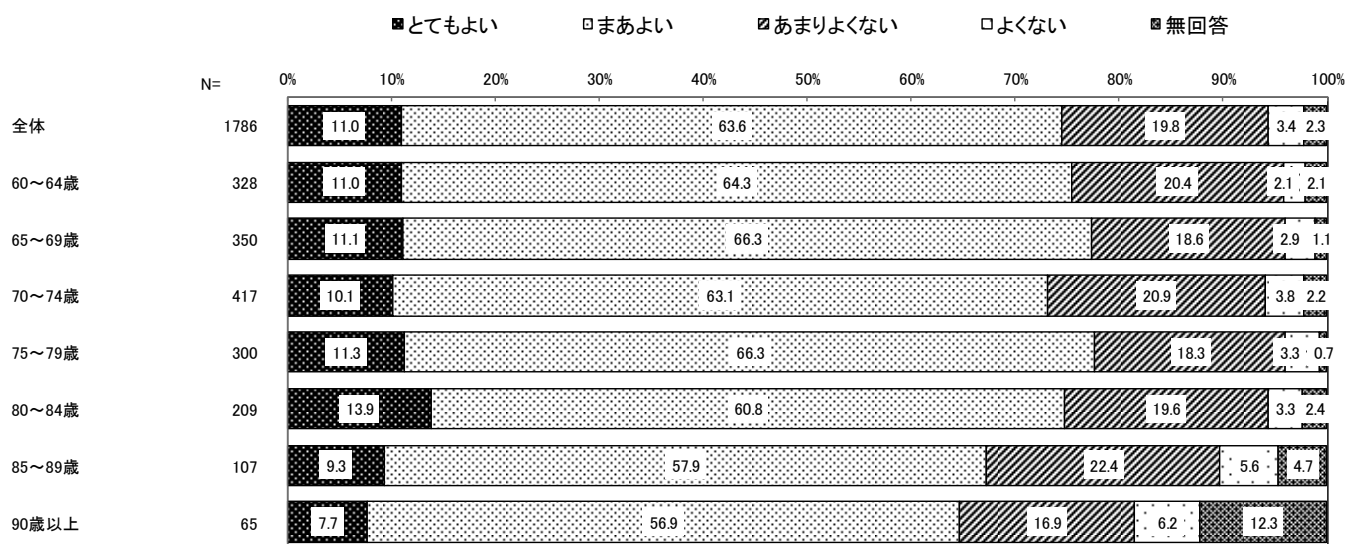
入れ歯・ブリッジの使用状況は、「使っていない」が44.7%で最も高く、次いで「上下両方のアゴで使用」が27.3%、「下のアゴだけ使用」が13.0%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「上下両方のアゴで使用」の割合が高くなる傾向があり、90歳以上では50.8%となっている。

(9) 口腔の健康状態

問 21 あなたの口（歯や歯ぐき，入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

【図表 3-13-1 口腔の健康状態×年齢別】



口腔の健康状態は、「まあよい」が 63.6%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 19.8%、「とてもよい」が 11.0%となっている。

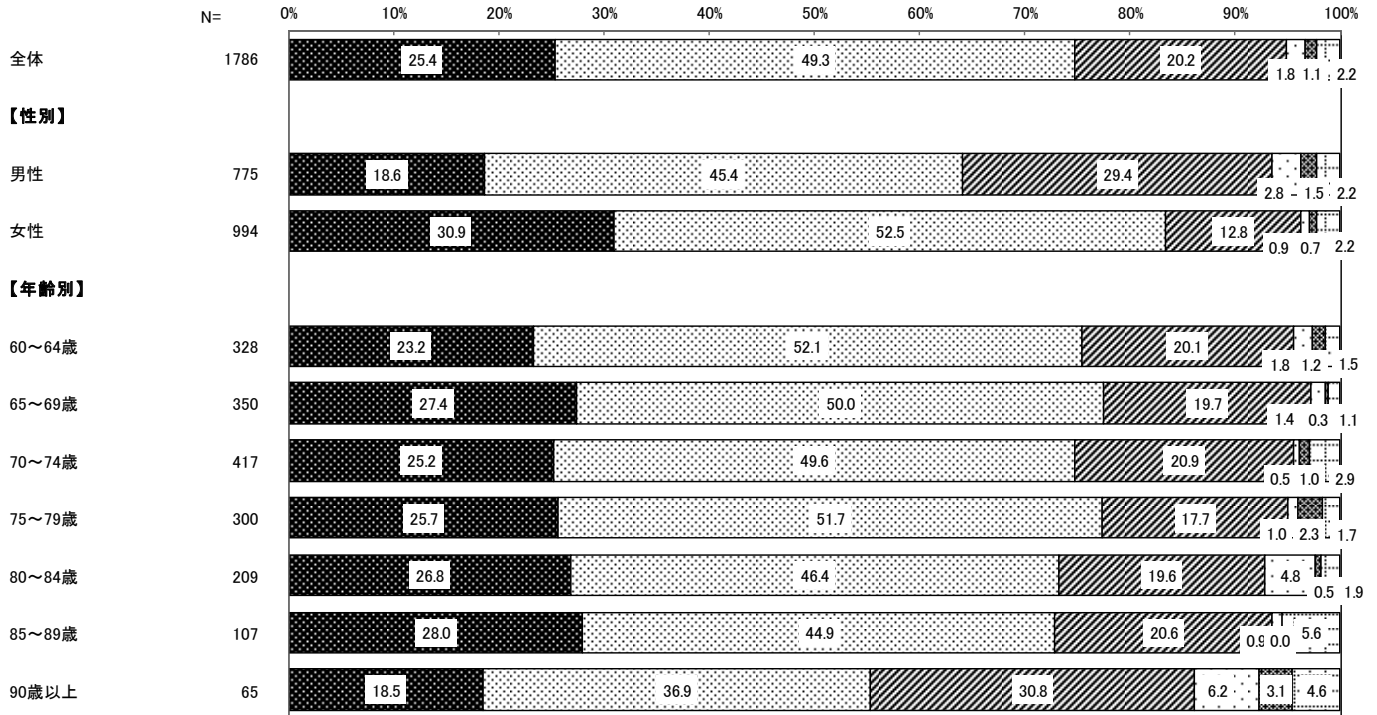
年齢別にみると、85～89歳、90歳以上では「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』の割合が6割半ばと、他と比べて低くなっている。

(10) 歯みがきの頻度

問 22 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。(○は1つ)

【図表 3-14-1 歯みがきの頻度×性別・年齢別】

■ 1日3回以上 □ 1日2回 ▨ 1日1回 □ 時々みがく ■ みがかない □ 無回答



歯みがきの頻度は、「1日2回」が49.3%で最も高く、次いで「1日3回以上」が25.4%、「1日1回」が20.2%となっている。

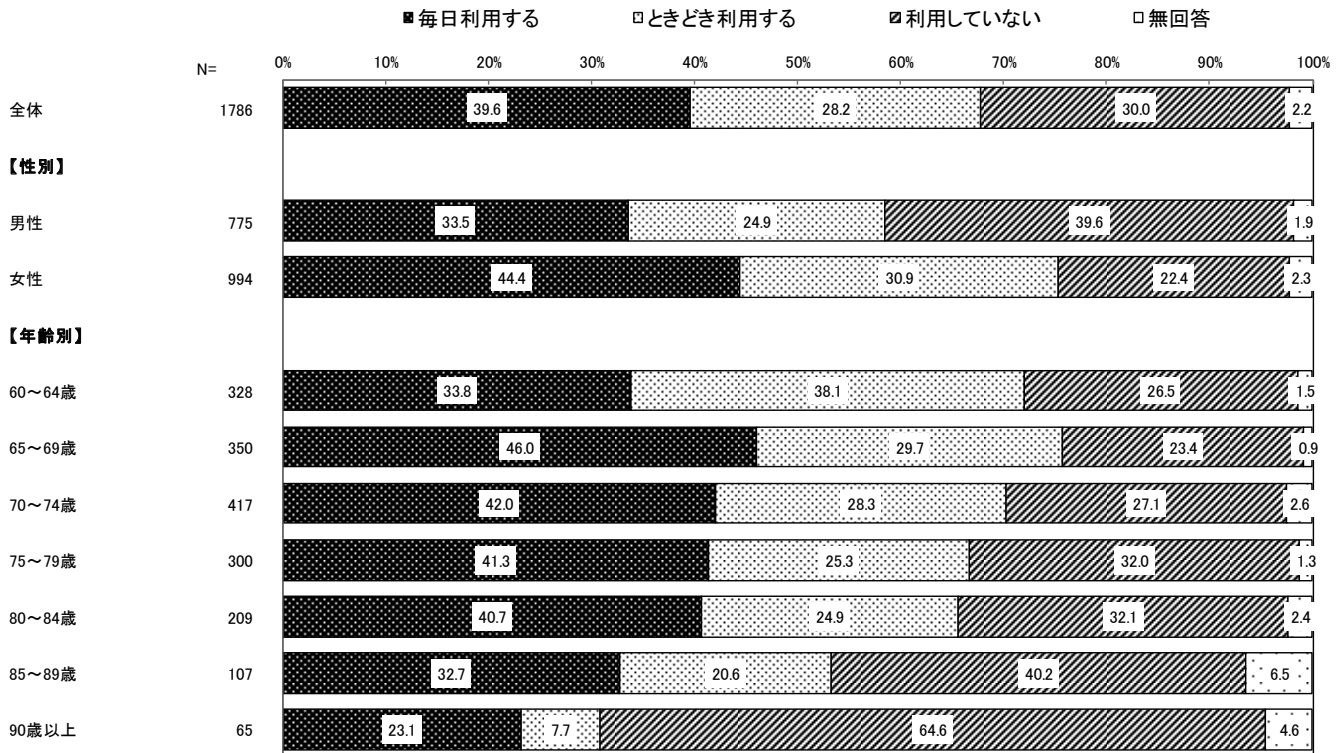
性別にみると、女性の方が男性よりも「1日3回以上」「1日2回」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、90歳以上では「1日1回」の割合が他と比べて高く、3割を超えている。

(11) 歯間部清掃用器具の使用状況

問 23 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。(○は1つ)

【図表 3-15-1 歯間部清掃用器具の使用状況×性別・年齢別】



歯間部清掃用器具の使用状況は、「毎日利用する」が 39.6%で最も高く、次いで「利用していない」が 30.0%、「ときどき利用する」が 28.2%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「利用していない」の割合が高く、女性の方が男性より「毎日利用する」の割合が高くなっている。

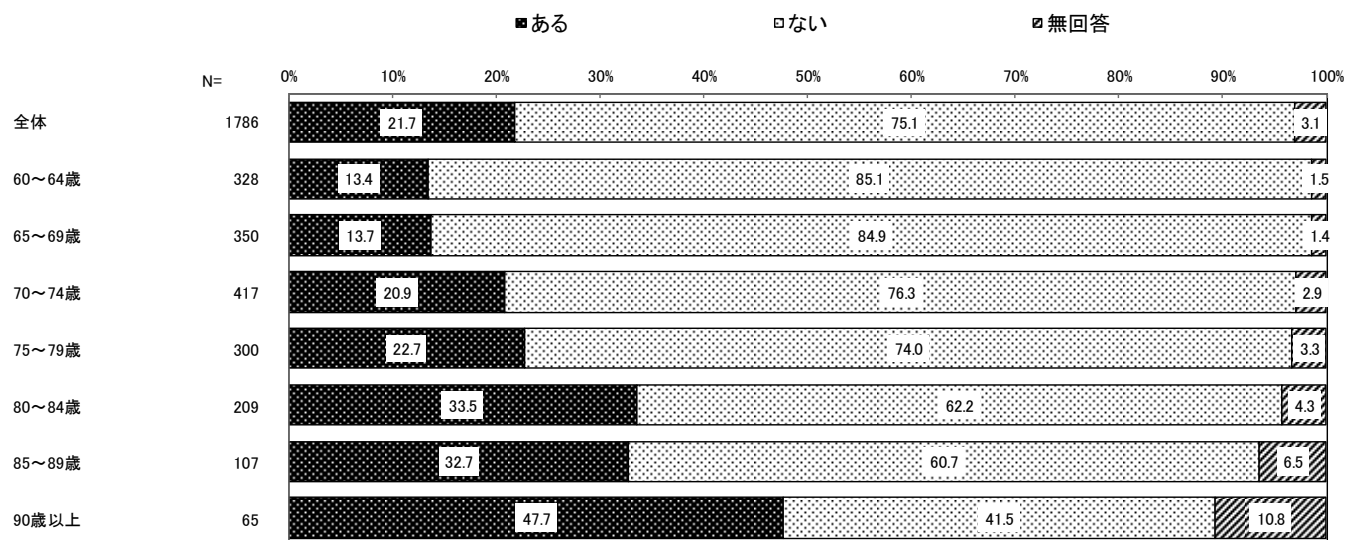
年齢別にみると、年齢が高くなるほど『利用する』（「毎日利用する」と「ときどき利用する」の合計）の割合は低くなっていく傾向があり、90歳以上では「利用していない」の割合が『利用する』の割合を上回った。

(12) 認知症への不安・相談先

① 認知症への不安

問 24 物忘れが多く、認知症ではないかと心配になることがありますか。(○は1つ)

【図表 3-16-1 認知症への不安×年齢別】



認知症への不安は、「ある」が 21.7%、「ない」が 75.1%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ある」の割合も高くなっていく傾向がある。

【図表 3-16-2 認知症への不安×年齢別・要介護度別・健康状態別】

		回答数	ある	ない	無回答
全体		1786	21.7	75.1	3.1
年齢別	60～64歳	328	13.4	85.1	1.5
	65～69歳	350	13.7	84.9	1.4
	70～74歳	417	20.9	76.3	2.9
	75～79歳	300	22.7	74.0	3.3
	80～84歳	209	33.5	62.2	4.3
	85～89歳	107	32.7	60.7	6.5
	90歳以上	65	47.7	41.5	10.8
要介護度別	要介護認定の申請はしていない	1442	17.8	80.1	2.1
	要介護認定を申請したが、非該当(自立)だった	11	9.1	90.9	0.0
	要支援1	48	43.8	54.2	2.1
	要支援2	49	44.9	46.9	8.2
	要介護1	35	54.3	40.0	5.7
	要介護2	19	42.1	52.6	5.3
	要介護3	17	58.8	11.8	29.4
	要介護4	16	50.0	43.8	6.3
	要介護5	10	40.0	40.0	20.0
わからない	77	24.7	70.1	5.2	
健康状態別	健康である	892	14.6	83.0	2.5
	外出はひとりできる	715	24.8	73.0	2.2
	外出はひとりできない	96	46.9	50.0	3.1
	ベッドでの生活が主体	37	56.8	35.1	8.1
	一日中ベッドの上	17	52.9	29.4	17.6

要介護度別にみると、要介護1、要介護3、要介護4の人では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

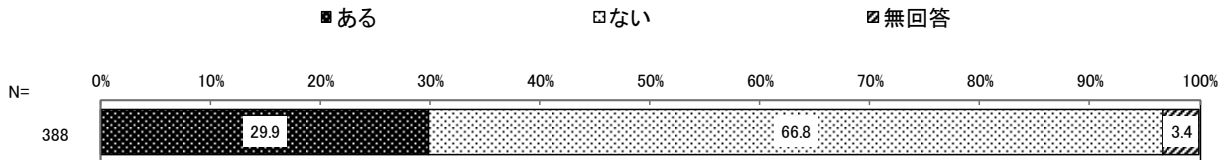
健康状態別にみると、ベッドでの生活が主体の人と一日中ベッドの上の人では、「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

②認知症についての相談の有無

【問 24】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 24-1 認知症について誰かに相談したことはありますか。(○は1つ)

【図表 3-16-3 認知症についての相談の有無】



認知症についての相談の有無は、「ある」が29.9%、「ない」が66.8%となっている。

【図表 3-16-4 認知症についての相談の有無×性別・年齢別】

		回答数	(%)		
			ある	ない	無回答
全体		388	29.9	66.8	3.4
性別	男性	151	21.2	75.5	3.3
	女性	231	35.1	61.9	3.0
年齢別	60～64歳	44	15.9	84.1	0.0
	65～69歳	48	20.8	68.8	10.4
	70～74歳	87	25.3	74.7	0.0
	75～79歳	68	25.0	70.6	4.4
	80～84歳	70	32.9	65.7	1.4
	85～89歳	35	40.0	51.4	8.6
	90歳以上	31	61.3	35.5	3.2

性別にみると、女性の方が男性より「ある」の割合が高くなっている。

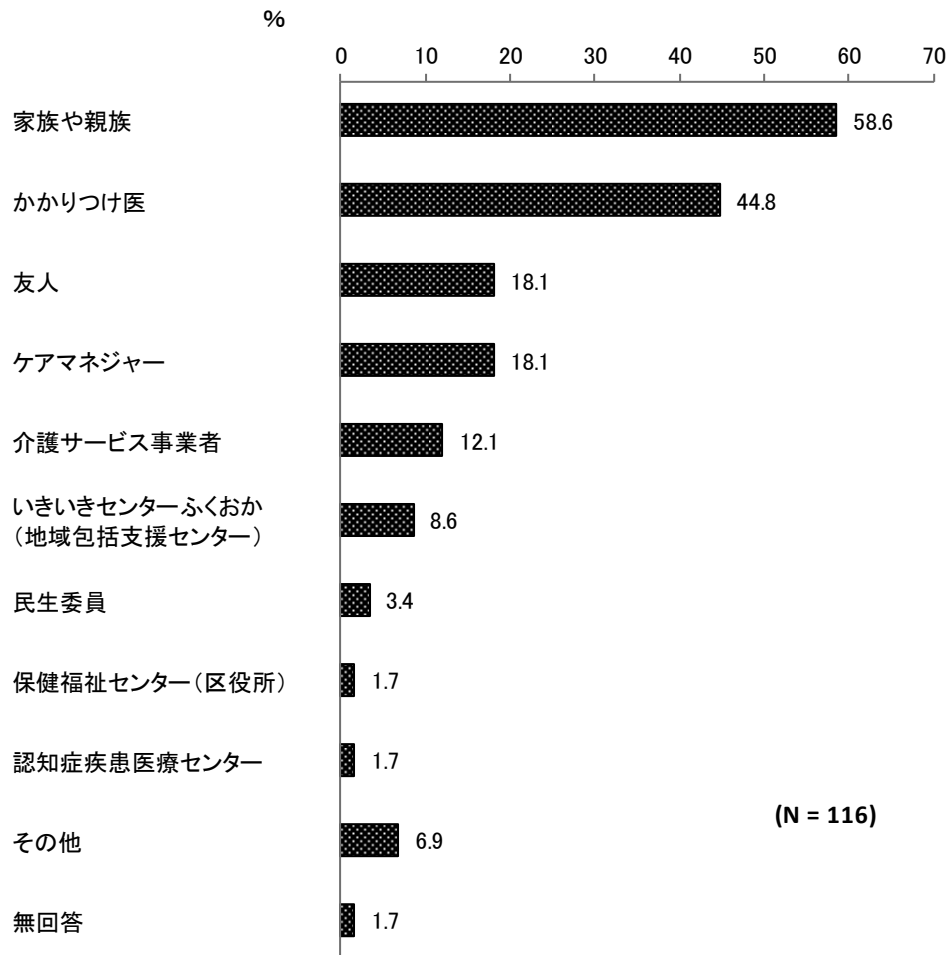
年齢別にみると、90歳以上では「ある」の割合が他と比べて高く、「ない」の割合を上回っている。

③ 認知症についての相談先

【問 24-1】で「1」と答えた方にうかがいます。

問 24-2 誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

【図表 3-16-5 認知症についての相談先】

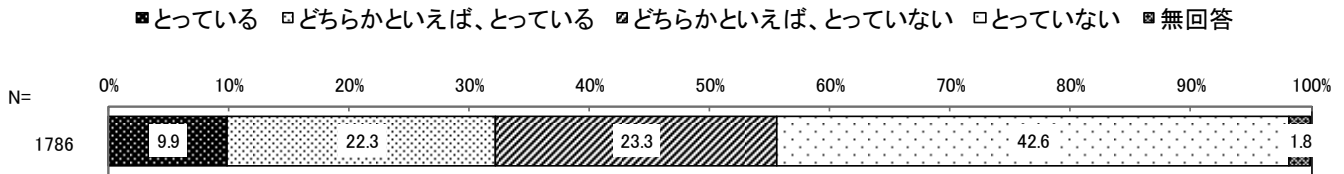


認知症についての相談先は、「家族や親族」が 58.6%で最も高く、次いで「かかりつけ医」が 44.8%、「友人」と「ケアマネジャー」がともに 18.1%となっている。

(13) 認知症を正しく理解する行動

問 25 認知症についての広報物に目を通したり、講座に参加したりするなど、認知症への正しい理解を得る行動をとっていますか。(○は1つ)

【図表 3-17-1 認知症を正しく理解する行動】



認知症を正しく理解する行動は、「とっていない」が42.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば、とっていない」が23.3%、「どちらかといえば、とっている」が22.3%となっている。

【図表 3-17-2 認知症を正しく理解する行動×年齢別】

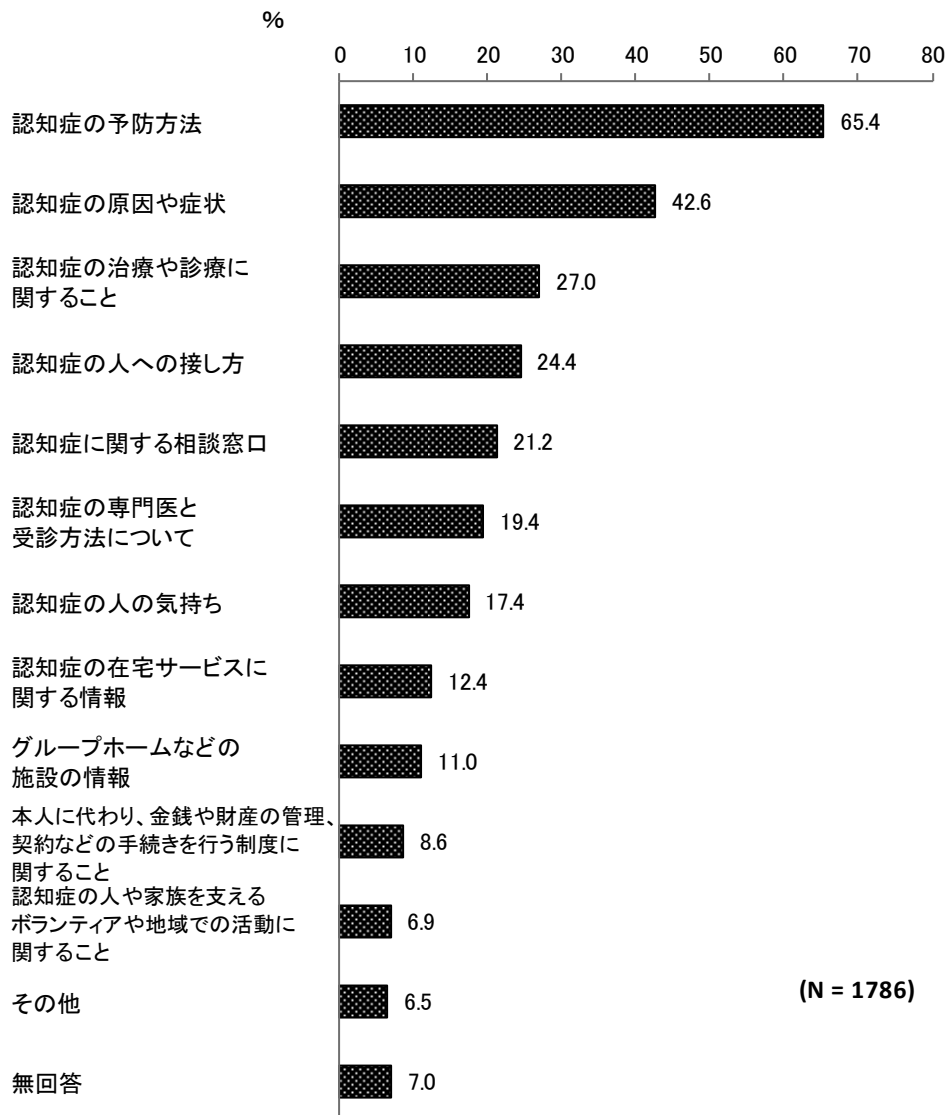
		(%)					
		回答数	とっている	どちらかといえば、とっている	どちらかといえば、とっていない	とっていない	無回答
全体		1786	9.9	22.3	23.3	42.6	1.8
年齢別	60～64歳	328	9.8	22.0	25.3	42.7	0.3
	65～69歳	350	9.4	23.1	20.3	45.7	1.4
	70～74歳	417	8.4	20.1	27.3	42.7	1.4
	75～79歳	300	13.3	24.7	21.3	38.3	2.3
	80～84歳	209	9.1	25.4	23.9	39.7	1.9
	85～89歳	107	11.2	21.5	21.5	43.0	2.8
	90歳以上	65	9.2	15.4	13.8	53.8	7.7

年齢別にみると、90歳以上では「とっていない」の割合が他の年代より高くなっている。

(14) 認知症に関して知りたい内容

問 26 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-18-1 認知症に関して知りたい内容】

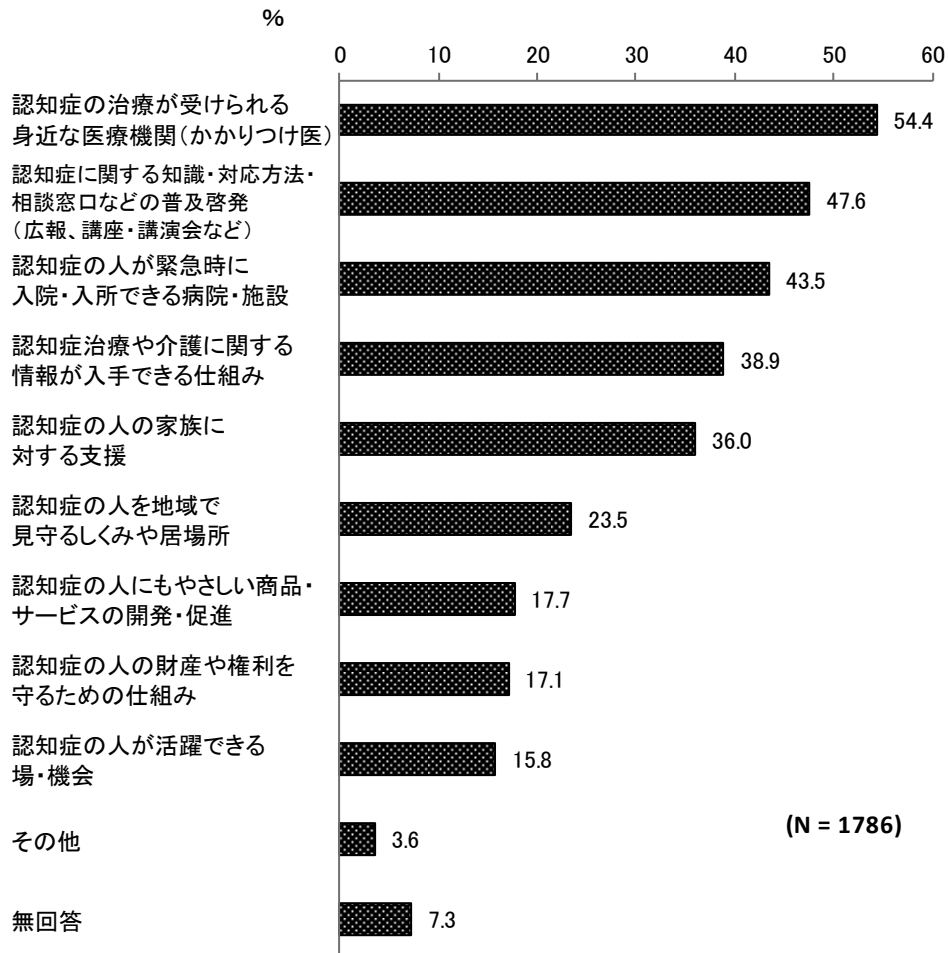


認知症に関して知りたい内容は、「認知症の予防方法」が 65.4%で最も高く、次いで「認知症の原因や症状」が 42.6%、「認知症の治療や診療に関すること」が 27.0%となっている。

(15) 認知症対策として充実してほしいこと

問 27 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-19-1 認知症対策として充実してほしいこと】



認知症対策として充実してほしいことは、「認知症の治療が受けられる身近な医療機関(かかりつけ医)」が 54.4%で最も高く、次いで「認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発(広報、講座・講演会など)」が 47.6%、「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」が 43.5%となっている。

【図表 3-19-2 認知症対策として充実してほしいこと×性別・年齢別】

		回答数	認知症に関する知識・対応方法・相談窓口に、講演・講座・啓発など）	認知症の近隣の医療機関に関する情報を受け	認知症治療や介護に関する情報が入手でき	認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設	認知症の人の地域で見守るしくみや居場所
全体		1786	47.6	54.4	38.9	43.5	23.5
性別	男性	775	50.6	51.5	37.8	37.0	19.5
	女性	994	45.6	56.8	40.0	48.4	27.1
年齢別	60～64歳	328	54.0	61.0	51.8	50.3	30.2
	65～69歳	350	47.1	57.1	40.6	47.4	28.0
	70～74歳	417	48.7	54.2	40.0	44.8	23.7
	75～79歳	300	47.3	53.3	32.7	40.3	20.0
	80～84歳	209	45.5	51.7	34.0	37.8	19.1
	85～89歳	107	37.4	40.2	29.0	28.0	15.9
	90歳以上	65	33.8	49.2	18.5	38.5	9.2
		対認知症の人の家族に	認知症の人が活躍できる場・機会	認知症の人のため財産や権利を守るための仕組み	認知症の人にもやさしい商品の開発・促進	その他	無回答
全体		36.0	15.8	17.1	17.7	3.6	7.3
性別	男性	34.3	13.2	18.2	14.8	5.2	6.2
	女性	37.6	18.0	16.6	20.0	2.3	8.1
年齢別	60～64歳	54.9	19.8	24.7	24.7	2.1	1.8
	65～69歳	41.4	18.6	23.1	20.0	3.1	4.0
	70～74歳	32.9	13.9	14.1	15.8	4.8	6.7
	75～79歳	30.3	15.3	11.7	14.0	4.0	12.0
	80～84歳	24.9	14.4	13.9	15.3	4.3	9.6
	85～89歳	16.8	8.4	11.2	12.1	4.7	15.0
	90歳以上	26.2	9.2	12.3	16.9	0.0	13.8

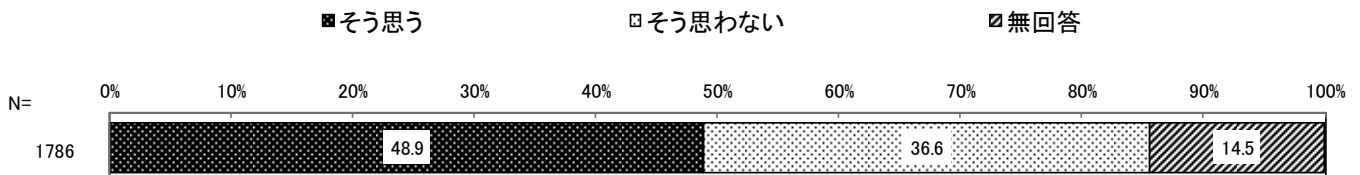
性別にみると、女性の方が男性より「認知症の人が緊急時に入院・入所できる病院・施設」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、60～64歳ではどの項目でも他の年代を上回る結果となっている。

(16) 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識

問 28 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちだと思いますか。(○は1つ)

【図表 3-20-1 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識】



福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識は、「そう思う」が 48.9%、「そう思わない」が 36.6%となっている。

【図表 3-20-2 福岡市が認知症の人にとって暮らし続けることができるまちであるかの認識×年齢別】

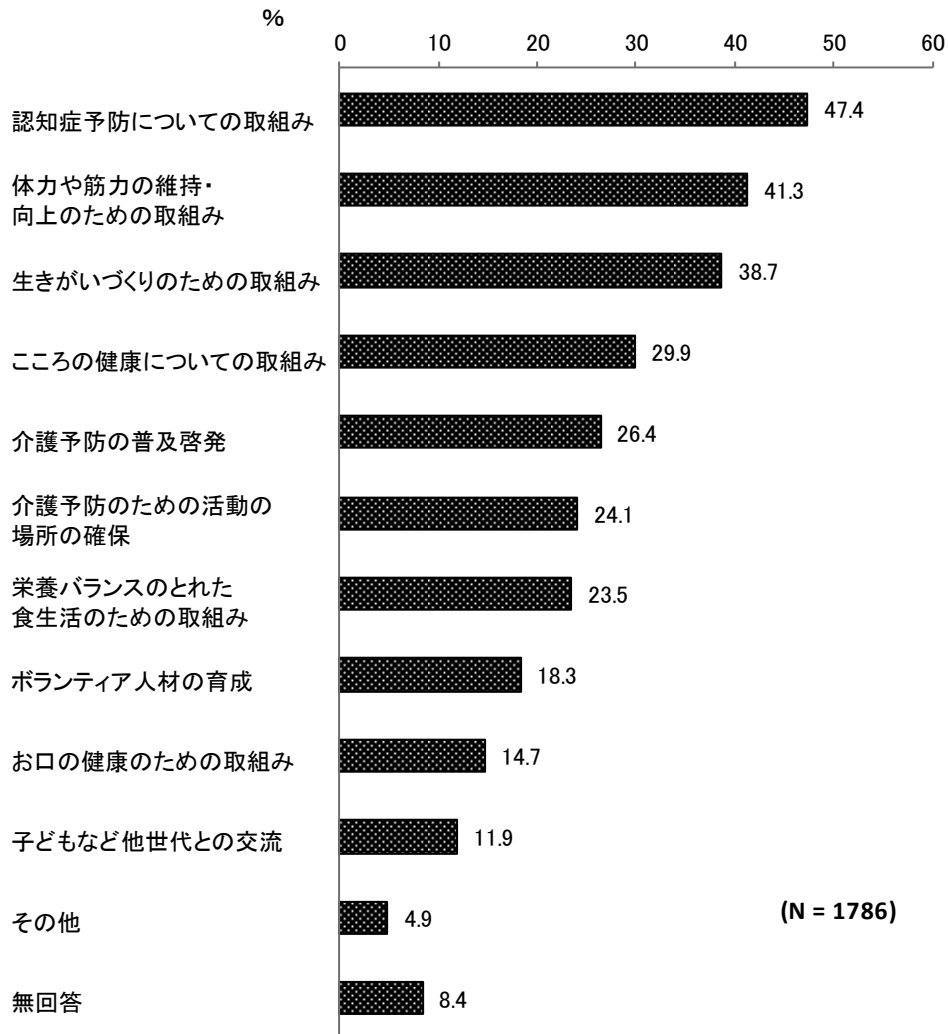
		回答数	そう思う	そう思わない	無回答
全体		1786	48.9	36.6	14.5
年齢別	60～64歳	328	49.1	45.7	5.2
	65～69歳	350	46.3	38.3	15.4
	70～74歳	417	46.3	38.8	14.9
	75～79歳	300	45.3	34.7	20.0
	80～84歳	209	56.5	29.7	13.9
	85～89歳	107	61.7	16.8	21.5
	90歳以上	65	52.3	29.2	18.5

年齢別にみると、すべての年代で「そう思う」の割合が「そう思わない」の割合を上回っているが、その差は年齢が低くなるほど小さくなる傾向があり、85～89歳では 44.9 ポイント差であるのに比べて、60～64歳では 3.4 ポイント差となっている。

(17) 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと

問 29 健康づくりや介護予防などの取組みについて、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-21-1 健康づくりで福岡市に力を入れてほしいこと】



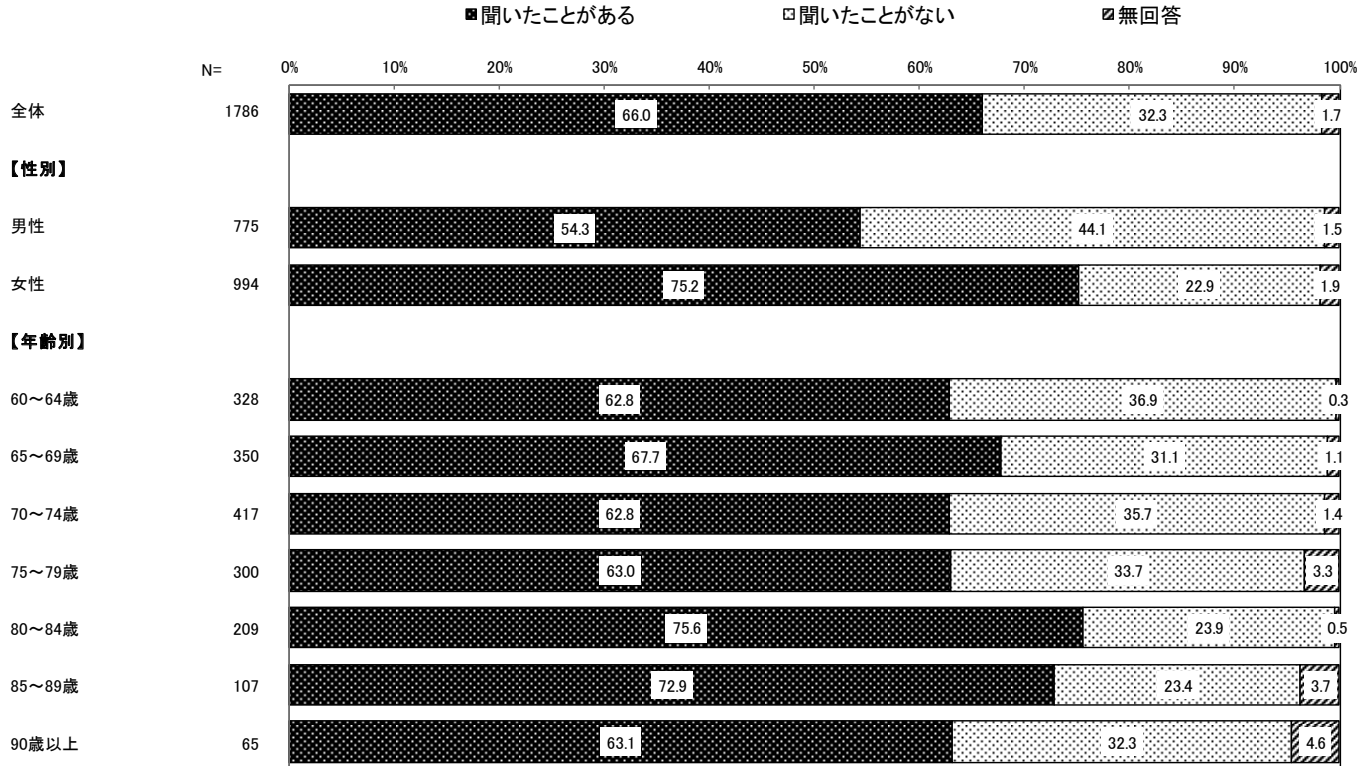
健康づくりで福岡市に力を入れてほしいことは、「認知症予防についての取組み」が47.4%で最も高く、次いで「体力や筋力の維持・向上のための取組み」が41.3%、「生きがいつくりのための取組み」が38.7%となっている。

3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について

（1）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度

問 30 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことがありますか。（○は1つ）

【図表 3-22-1 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×性別・年齢別】



いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度は、「聞いたことがある」が66.0%、「聞いたことがない」が32.3%となっている。

性別にみると、女性の方が男性より「聞いたことがある」の割合が高く、75.2%となっている。

年齢別にみると、80～84歳、85～89歳では「聞いたことがある」が7割を超えており、他の年代より高い結果となった。

【図表 3-22-2 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×経年比較】

					(%)
		回答数	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
全体		1786	66.0	32.3	1.7
経年	令和元年度	1764	63.0	34.8	2.2
	平成28年度	1886	53.6	45.1	1.3
	平成25年度	2985	46.8	49.6	3.6
	平成22年度	2939	40.6	52.9	6.5

過去の調査結果と比較すると、「聞いたことがある」の割合は増加している。

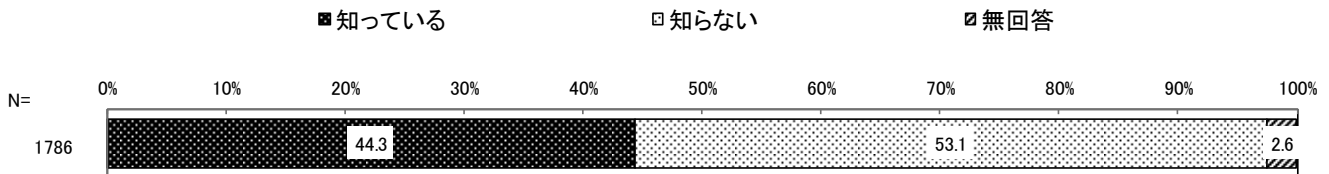
4. 権利擁護について

(1) 高齢者虐待の通報義務の認知度

問 31 高齢者虐待（と思われること）を見たり、聞いたりした場合、市へ通報する義務があることを知っていますか。（○は1つ）

※通報先は、各区地域保健福祉課やいきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）です。

【図表 3-23-1 高齢者虐待の通報義務の認知度】

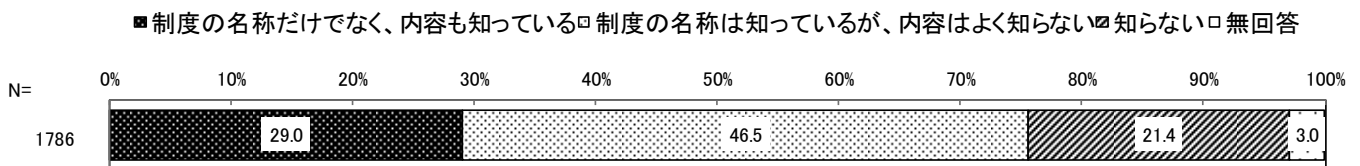


高齢者虐待の通報義務の認知度は、「知っている」が44.3%、「知らない」が53.1%となっている。

(2) 成年後見制度の認知度

問 32 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つ）

【図表 3-24-1 成年後見制度の認知度】



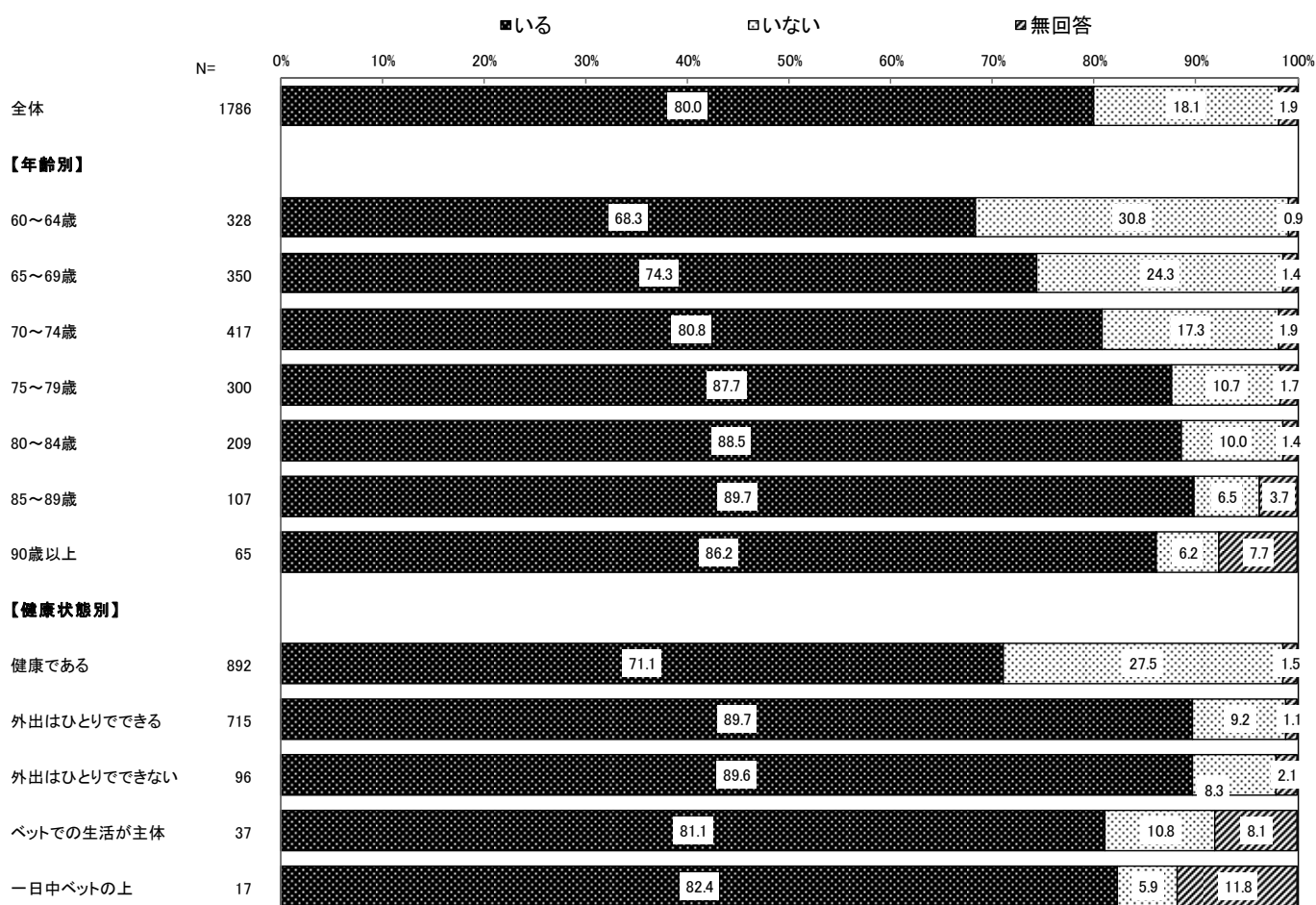
成年後見制度の認知度は、「制度の名称は知っているが、内容はよく知らない」が46.5%で最も高く、次いで「制度の名称だけでなく、内容も知っている」が29.0%、「知らない」が21.4%となっている。

5. 医療について

(1) かかりつけ医の有無

問 33 あなたは、普段から健康状態や病気のことなどで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受ける、かかりつけ医がいますか。(○は1つ)

【図表 3-25-1 かかりつけ医の有無×年齢別・健康状態別】



かかりつけ医の有無は、「いる」が80.0%、「いない」が18.1%となっている。

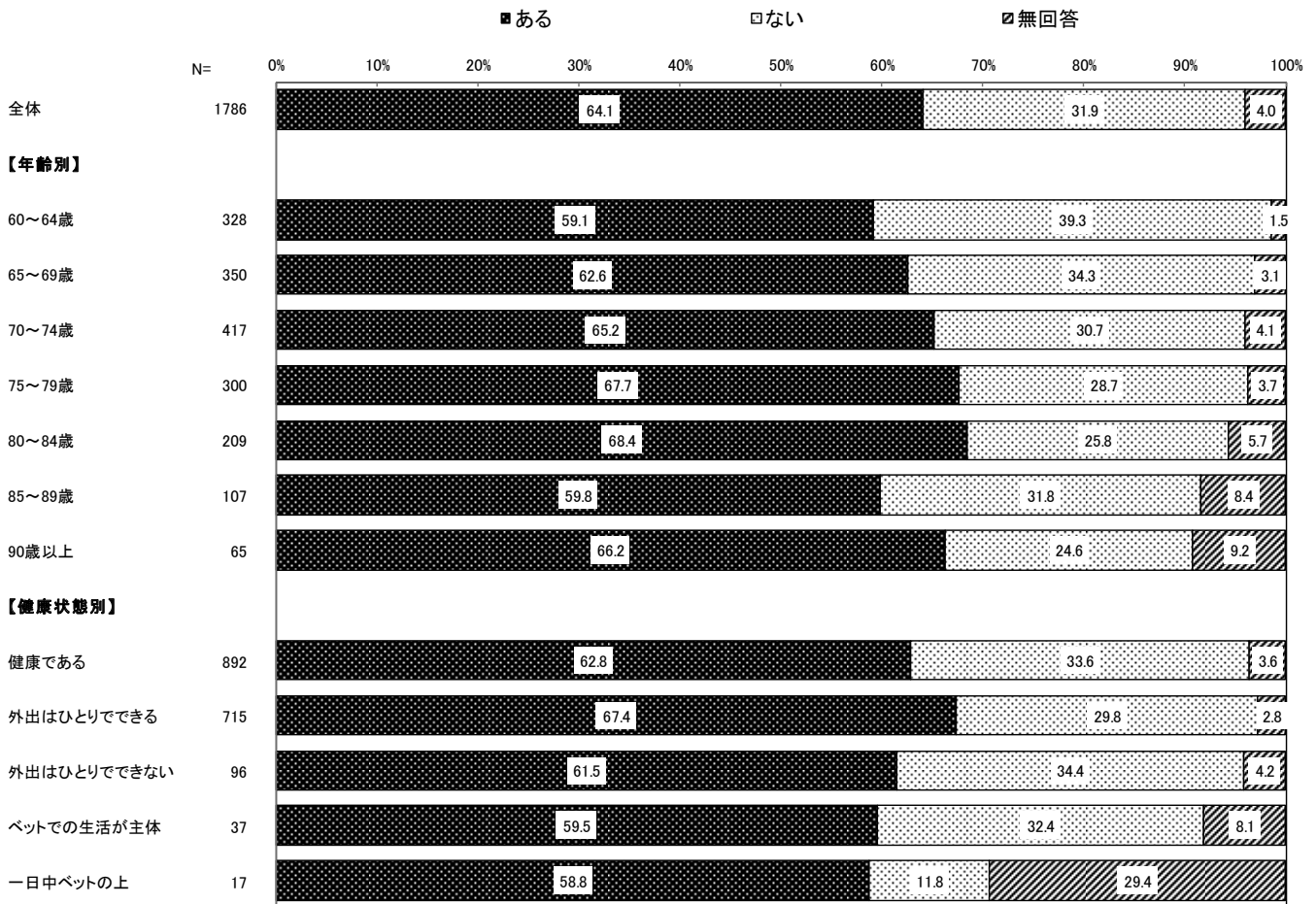
年齢別にみると、70歳以上では「いる」の割合が8割を超えている。また60～89歳では、年齢が高くなるほど「いる」の割合は高くなる傾向がみられた。

健康状態別にみると、健康である人は「いる」の割合が71.1%となっているのに比べ、他のすべての健康状態では「いる」の割合が8割を超えている。

(2) 在宅医療への関心

問 34 あなたは、在宅医療に関心がありますか。(○は1つ)

【図表 3-26-1 在宅医療への関心×年齢別・健康状態別】



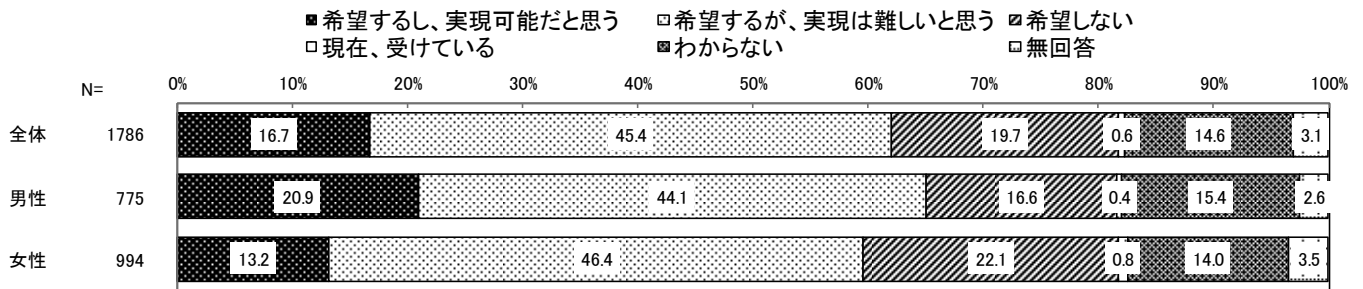
在宅医療への関心は、「ある」が 64.1%、「ない」が 31.9%となっている。
 年齢別にみると、すべての年齢で「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。
 健康状態別にみると、一日中ベッドの上の人では「ない」の割合が他と比べて低くなっている。

(3) 在宅医療の希望

①在宅医療の希望・実現可能性

問 35 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(○は1つ)

【図表 3-27-1 在宅医療の希望・実現可能性×性別】



在宅医療の希望は、「希望するし、実現可能だと思う」が16.7%、「希望するが、実現は難しいと思う」が45.4%で、これらを合わせた『希望する』が62.1%であり、「希望しない」が19.7%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「希望するし、実現可能だと思う」の割合が高くなっている。

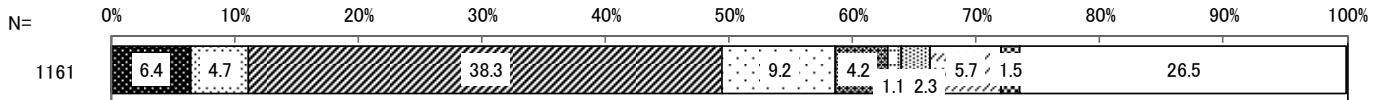
②在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

【問 35】で「2」か「3」と答えた方にかがいます。

問 35-1 あなたが、在宅医療を「希望しない」、または「実現が難しい」と思う理由は何ですか。(〇は1つ)

【図表 3-27-2 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】

- 往診などをしてくれる医師がないから
- 家族に負担をかけるから
- 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- 療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから
- その他
- 訪問看護や介護の体制が不十分だから
- 介護してくれる家族がないから
- 医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから
- 経済的に負担が大きいため
- 無回答



在宅医療を希望しないまたは実現が難しい理由は、「家族に負担をかけるから」が38.3%で最も高く、次いで「介護してくれる家族がないから」が9.2%、「往診などをしてくれる医師がないから」が6.4%となっている。

【図表 3-27-3 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由×年齢別・世帯構成別】

		回答数	往診などをしてくれる医師がないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	介護してくれる家族がないから	急に病状が変わったときの対応が不安だから	医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	介護してくれる家族がないから	医師や看護師の訪問が精神的に負担になるから	療養できる部屋やトイレなどの在宅環境が整っていないから	経済的に負担が大きいため	その他	無回答
全体		1161	6.4	4.7	38.3	9.2	4.2	1.1	2.3	5.7	1.5	26.5	0		
年齢別	60～64歳	228	5.7	3.1	37.7	7.5	2.6	0.4	1.3	4.8	1.3	35.5	0		
	65～69歳	236	3.0	2.5	45.3	7.6	3.4	0.4	2.5	2.5	2.1	30.5	0		
	70～74歳	274	5.1	5.8	37.6	8.8	4.7	1.8	2.9	7.3	2.6	23.4	0		
	75～79歳	177	7.3	5.1	42.4	9.6	3.4	0.0	1.7	7.9	0.0	22.6	0		
	80～84歳	132	8.3	7.6	25.8	13.6	6.8	2.3	3.0	9.1	0.8	22.7	0		
	85～89歳	63	19.0	6.3	33.3	11.1	7.9	1.6	1.6	4.8	0.0	14.3	0		
世帯構成別	90歳以上	45	4.4	6.7	40.0	11.1	4.4	4.4	4.4	0.0	2.2	22.2	0		
	一人暮らし世帯	262	4.2	5.3	17.6	26.7	3.4	2.3	0.8	8.8	1.5	29.4	0		
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	373	8.3	5.1	43.4	4.0	5.9	0.5	2.9	6.2	0.8	22.8	0		
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	73	5.5	5.5	46.6	2.7	2.7	0.0	1.4	1.4	2.7	31.5	0		
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	70	7.1	0.0	50.0	4.3	4.3	0.0	2.9	5.7	1.4	24.3	0		
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	45	4.4	8.9	42.2	11.1	4.4	0.0	2.2	2.2	0.0	24.4	0		
	二世帯同居世帯	216	6.0	3.7	48.1	3.7	2.3	1.9	2.8	2.8	1.9	26.9	0		
	三世帯同居世帯	36	2.8	8.3	38.9	0.0	8.3	2.8	0.0	0.0	0.0	38.9	0		
その他の世帯	66	4.5	1.5	37.9	4.5	4.5	0.0	6.1	12.1	4.5	24.2	0			

年齢別にみると、85～89歳では「往診などをしてくれる医師がないから」の割合が他と比べて高くなっている。

世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「介護してくれる家族がないから」の割合が他と比べて高い。

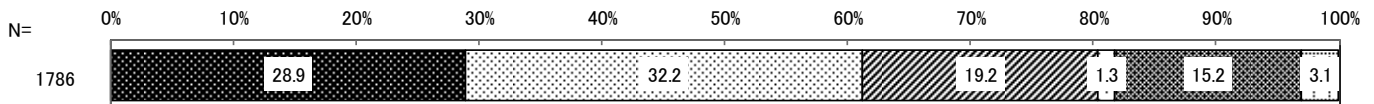
(4) 最期を迎えたい場所

問 36 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

(○は1つ)

【図表 3-28-1 最期を迎えたい場所】

■自宅(親族の家を含む) □医療機関 ▨介護サービスが受けられる施設 □その他 ■わからない □無回答



最期を迎えたい場所は、「医療機関」が 32.2%で最も高く、次いで「自宅(親族の家を含む)」が 28.9%、「介護サービスが受けられる施設」が 19.2%となっている。

【図表 3-28-2 最期を迎えたい場所×性別・世帯構成別】

		回答数	自宅(親族の家を含む)	医療機関	介護サービスが受けられる施設	その他	わからない	無回答
全体		1786	28.9	32.2	19.2	1.3	15.2	3.1
性別	男性	775	34.7	30.8	15.1	0.6	15.7	3.0
	女性	994	24.3	33.1	22.4	1.8	15.1	3.2
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	20.0	34.5	22.7	1.9	18.8	2.2
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	32.9	33.4	16.2	1.1	13.2	3.3
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	26.7	28.3	22.5	0.8	18.3	3.3
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	35.0	27.0	19.0	0.0	18.0	1.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	23.6	26.4	26.4	2.8	19.4	1.4
	二世帯同居世帯	308	32.1	32.1	18.2	1.6	13.3	2.6
	三世帯同居世帯	56	41.1	28.6	14.3	0.0	10.7	5.4
その他の世帯	114	28.1	32.5	20.2	0.9	12.3	6.1	

性別にみると、男性の方が女性より「自宅(親族の家を含む)」の割合が高くなっている。一方、女性の方が男性より「介護サービスが受けられる施設」の割合が高くなっている。

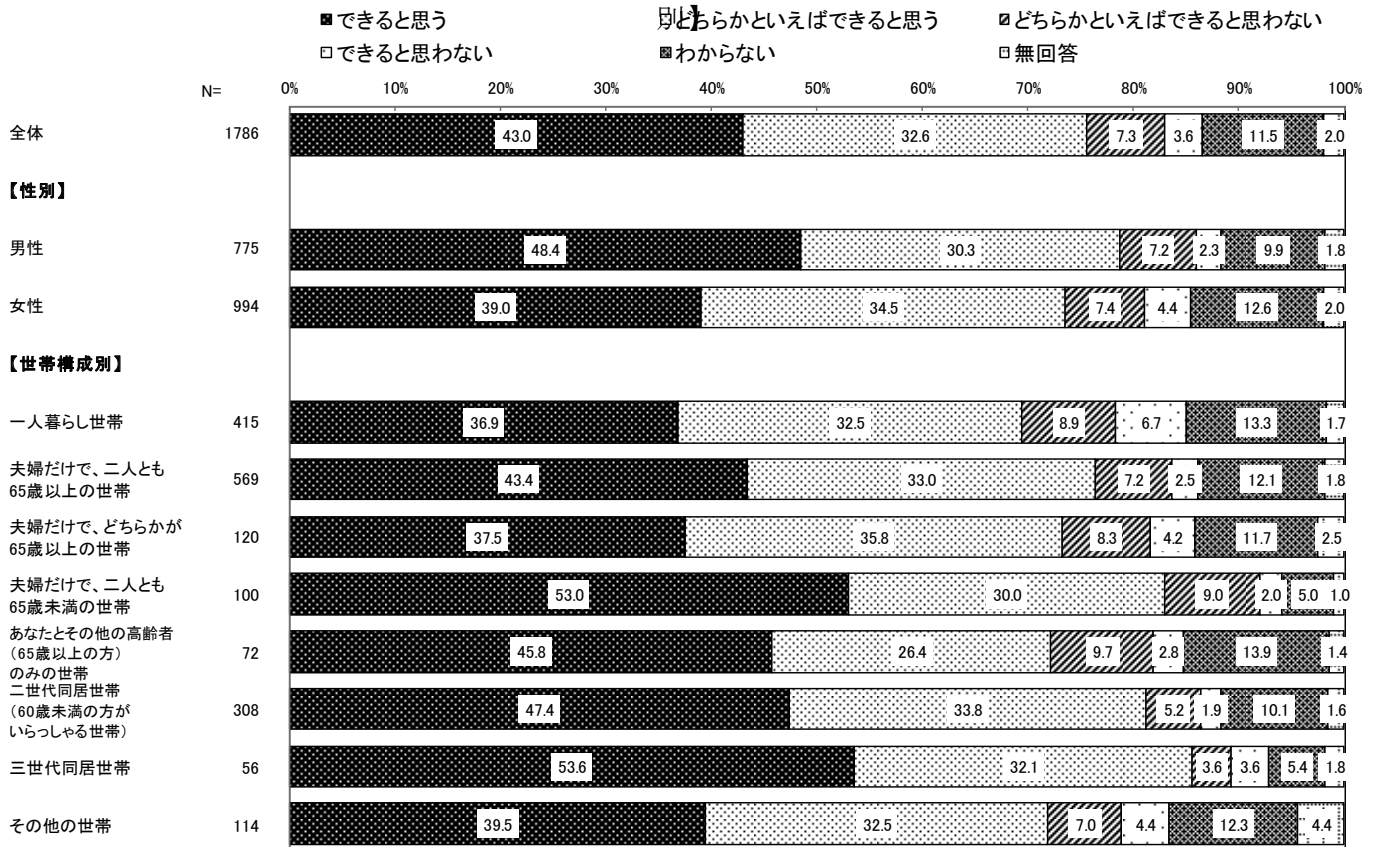
世帯構成別にみると、一人暮らし世帯では「自宅(親族の家を含む)」の割合が低くなっている。三世帯同居世帯では「自宅(親族の家を含む)」の割合が4割を超え、高い結果となっている。

6. これからについて

(1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか

問 37 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができますか。(〇は1つ)

【図表 3-29-1 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか×性別・世帯構成】



住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うかは、「できると思う」が 43.0%、「どちらかといえばできると思う」が 32.6%で、これらを合わせた『できると思う』が 75.6%となっている。

性別にみると、男性の方が女性より「できると思う」の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦だけで、二人とも 65 歳未満の世帯と三世帯同居世帯では「できると思う」の割合が 5 割を超え、他と比べて高くなっている。

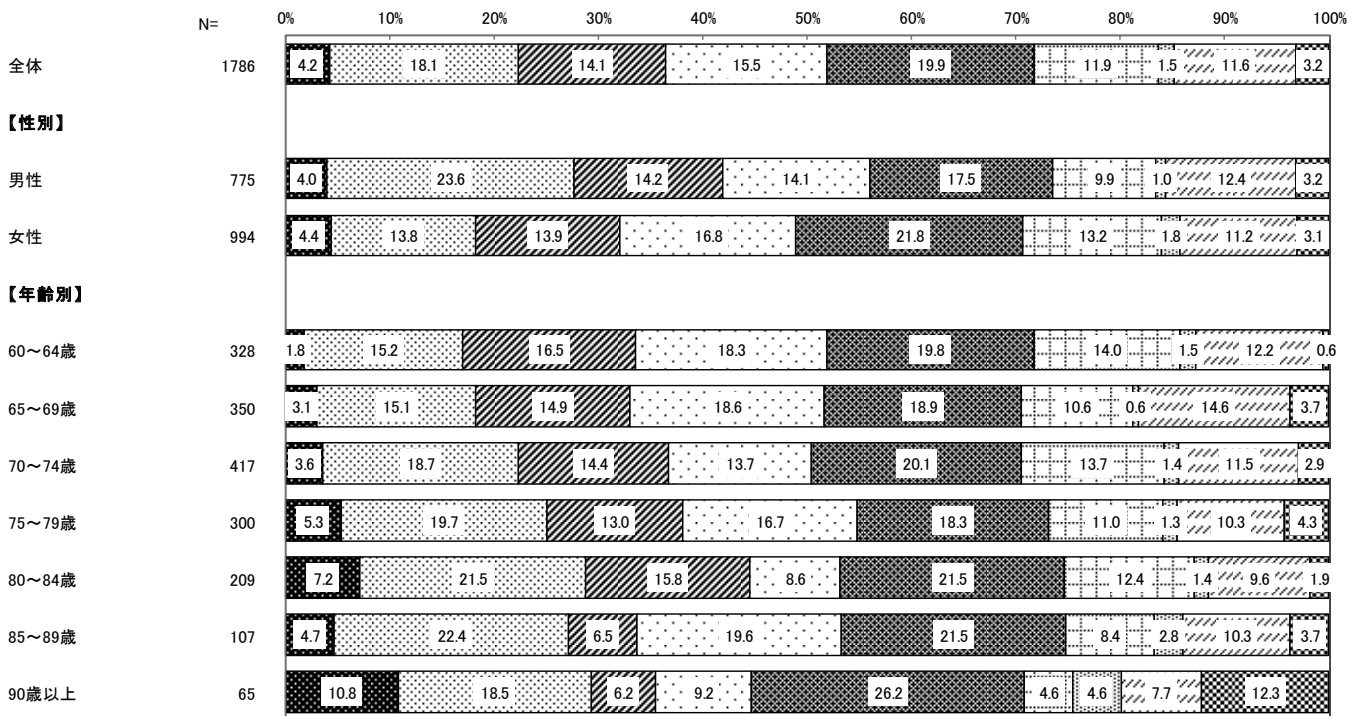
(2) 今後の介護意向

問 38 あなたは、介護が必要となったとき、どのようにしたいと考えていますか。

(○は1つ)

【図表 3-30-1 今後の介護意向×性別・年齢別】

- 在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい
- 在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい
- ▨ 在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい
- ▩ 施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい
- ▧ 住み慣れた地域の施設に入所したい
- ▦ 住み慣れた地域でなくてもよいので施設に入所したい
- その他
- わからない
- 無回答



今後の介護意向は、全体では「住み慣れた地域の施設に入所したい」が19.9%で最も高く、次いで「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」が18.1%、「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい」が15.5%となっている。また「在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい」「在宅で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」「在宅で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅で生活したい」を合わせた『在宅で生活したい』の割合は51.9%と半数を超えている。

【図表 3-30-2 今後の介護意向×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	を在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	その他	わからない	無回答
			を在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	在宅で生活したい	その他	わからない	無回答
全体		1786	4.2	18.1	14.1	15.5	19.9	11.9	1.5	11.6	3.2	
性別	男性	775	4.0	23.6	14.2	14.1	17.5	9.9	1.0	12.4	3.2	
	女性	994	4.4	13.8	13.9	16.8	21.8	13.2	1.8	11.2	3.1	
年齢別	60～64歳	328	1.8	15.2	16.5	18.3	19.8	14.0	1.5	12.2	0.6	
	65～69歳	350	3.1	15.1	14.9	18.6	18.9	10.6	0.6	14.6	3.7	
	70～74歳	417	3.6	18.7	14.4	13.7	20.1	13.7	1.4	11.5	2.9	
	75～79歳	300	5.3	19.7	13.0	16.7	18.3	11.0	1.3	10.3	4.3	
	80～84歳	209	7.2	21.5	15.8	8.6	21.5	12.4	1.4	9.6	1.9	
	85～89歳	107	4.7	22.4	6.5	19.6	21.5	8.4	2.8	10.3	3.7	
	90歳以上	65	10.8	18.5	6.2	9.2	26.2	4.6	4.6	7.7	12.3	
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	2.2	10.1	20.2	12.3	20.5	14.5	2.4	14.9	2.9	
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	4.7	21.6	14.6	15.3	19.2	11.2	0.7	9.5	3.2	
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	3.3	21.7	7.5	16.7	16.7	15.8	0.8	13.3	4.2	
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	2.0	17.0	20.0	18.0	22.0	10.0	0.0	9.0	2.0	
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	4.2	15.3	5.6	15.3	26.4	15.3	1.4	15.3	1.4	
	二世帯同居世帯	308	5.5	24.7	11.4	18.8	18.5	10.1	1.3	7.1	2.6	
	三世帯同居世帯	56	8.9	17.9	10.7	19.6	25.0	10.7	0.0	5.4	1.8	
	その他の世帯	114	5.3	12.3	7.0	15.8	19.3	7.0	5.3	21.9	6.1	

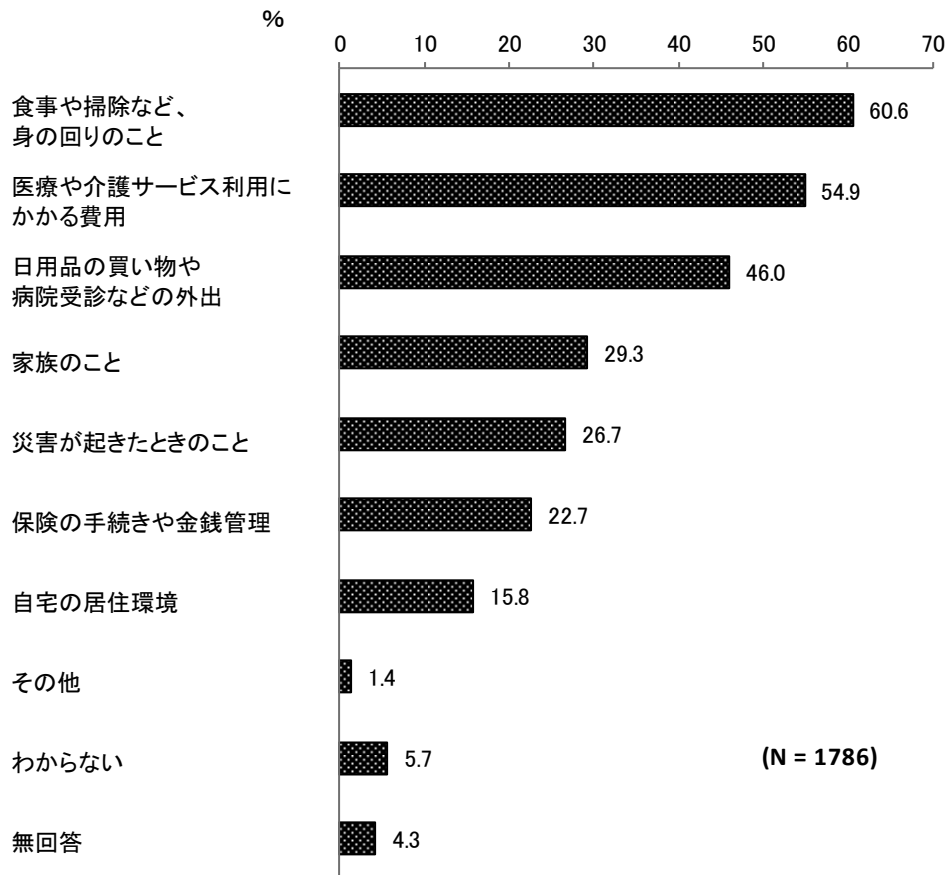
性別にみると、男性の方が女性より『在宅で生活したい』の割合が高くなっている。
 年齢別にみると、90歳以上では「在宅で、できるかぎり家族だけでの介護を受けた
 い」の割合は他と比べて高くなっているが、『在宅で生活したい』の割合は4割半ばであり、他と比べて低い結果となっている。

世帯構成別にみると、あなたとその他の高齢者（65歳以上の方）のみの世帯では『在宅で生活したい』の割合が40.4%であり、他に比べて低い結果となっている。また、二世帯同居世帯（65歳未満の方がいらっしゃる世帯）では『在宅で生活したい』の割合が6割を超えている。

(3) 医療や介護が必要になったとき不安なこと

問 39 あなたが、医療や介護が必要になったとき、どのようなことが不安ですか。
(〇はいくつでも)

【図表 3-31-1 医療や介護が必要になったとき不安なこと】



医療や介護が必要になったとき不安なことは、「食事や掃除など、身の回りのこと」が60.6%で最も高く、次いで「医療や介護サービス利用にかかる費用」が54.9%、「日用品の買い物や病院受診などの外出」が46.0%となっている。

【図表 3-31-2 医療や介護が必要になったとき不安なこと×健康状態別】

		回答数	の食事や掃除など、身の回りのこと	日用品の買い物や病院受診などの外出	災害が起きたときのこと	自宅の居住環境	医療や介護サービス利用にかかる費用	保険の手続きや金銭管理	家族のこと	その他	わからない	無回答
全体		1786	60.6	46.0	26.7	15.8	54.9	22.7	29.3	1.4	5.7	4.3
健康状態別	健康である	892	61.5	45.2	24.3	16.8	54.3	22.6	30.9	1.5	5.7	3.1
	外出はひとりできる	715	62.5	49.5	29.2	15.8	57.8	23.6	29.7	1.1	4.9	4.2
	外出はひとりできない	96	53.1	44.8	31.3	10.4	42.7	26.0	25.0	2.1	7.3	6.3
	ベッドでの生活が主体	37	40.5	29.7	32.4	10.8	56.8	13.5	18.9	5.4	10.8	13.5
	一日中ベッドの上	17	29.4	5.9	11.8	11.8	47.1	11.8	11.8	0.0	17.6	11.8

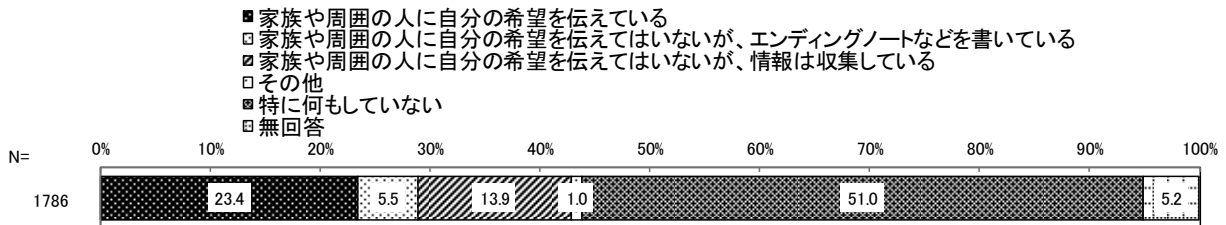
健康状態別にみると、大きな差はみられなかった。

(4) 終活について

問 40 あなたは、認知症や病気などによって、医療や介護などに関する自分の希望を伝えることが難しくなる場合に備えて、何か準備をしていますか。

(一番近いもの1つに○)

【図表 3-32-1 終活について】



終活については、「特に何もしていない」が 51.0%で最も高く、次いで「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」が 23.4%、「家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいるが、情報は収集している」が 13.9%となっている。

【図表 3-32-2 終活について×性別・年齢別・世帯構成別】

		回答数	家族や周囲の人に自分の希望を伝えている	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいるが、エンディングノートなどを書いている	家族や周囲の人に自分の希望を伝えてはいるが、情報は収集している	その他	特に何もしていない	無回答
全体		1786	23.4	5.5	13.9	1.0	51.0	5.2
性別	男性	775	17.0	4.9	14.8	1.0	57.8	4.4
	女性	994	28.2	6.1	13.3	0.9	45.9	5.6
年齢別	60～64歳	328	19.8	3.7	16.2	0.9	57.9	1.5
	65～69歳	350	22.0	5.7	12.3	0.3	58.0	1.7
	70～74歳	417	19.9	7.0	16.5	1.0	50.6	5.0
	75～79歳	300	25.7	5.7	14.0	1.0	45.7	8.0
	80～84歳	209	29.7	6.2	12.9	2.4	43.5	5.3
	85～89歳	107	29.0	4.7	11.2	0.9	41.1	13.1
	90歳以上	65	30.8	4.6	3.1	0.0	49.2	12.3
世帯構成別	一人暮らし世帯	415	24.1	7.0	15.9	1.2	45.1	6.7
	夫婦だけで、二人とも65歳以上の世帯	569	22.1	5.6	14.2	1.4	51.7	4.9
	夫婦だけで、どちらかが65歳以上の世帯	120	27.5	3.3	10.8	0.8	56.7	0.8
	夫婦だけで、二人とも65歳未満の世帯	100	21.0	3.0	21.0	0.0	50.0	5.0
	あなたとその他の高齢者のみの世帯	72	23.6	2.8	12.5	0.0	55.6	5.6
	二世帯同居世帯	308	23.7	6.2	13.3	0.6	51.6	4.5
	三世帯同居世帯	56	32.1	3.6	12.5	0.0	50.0	1.8
	その他の世帯	114	19.3	7.0	7.9	0.9	58.8	6.1

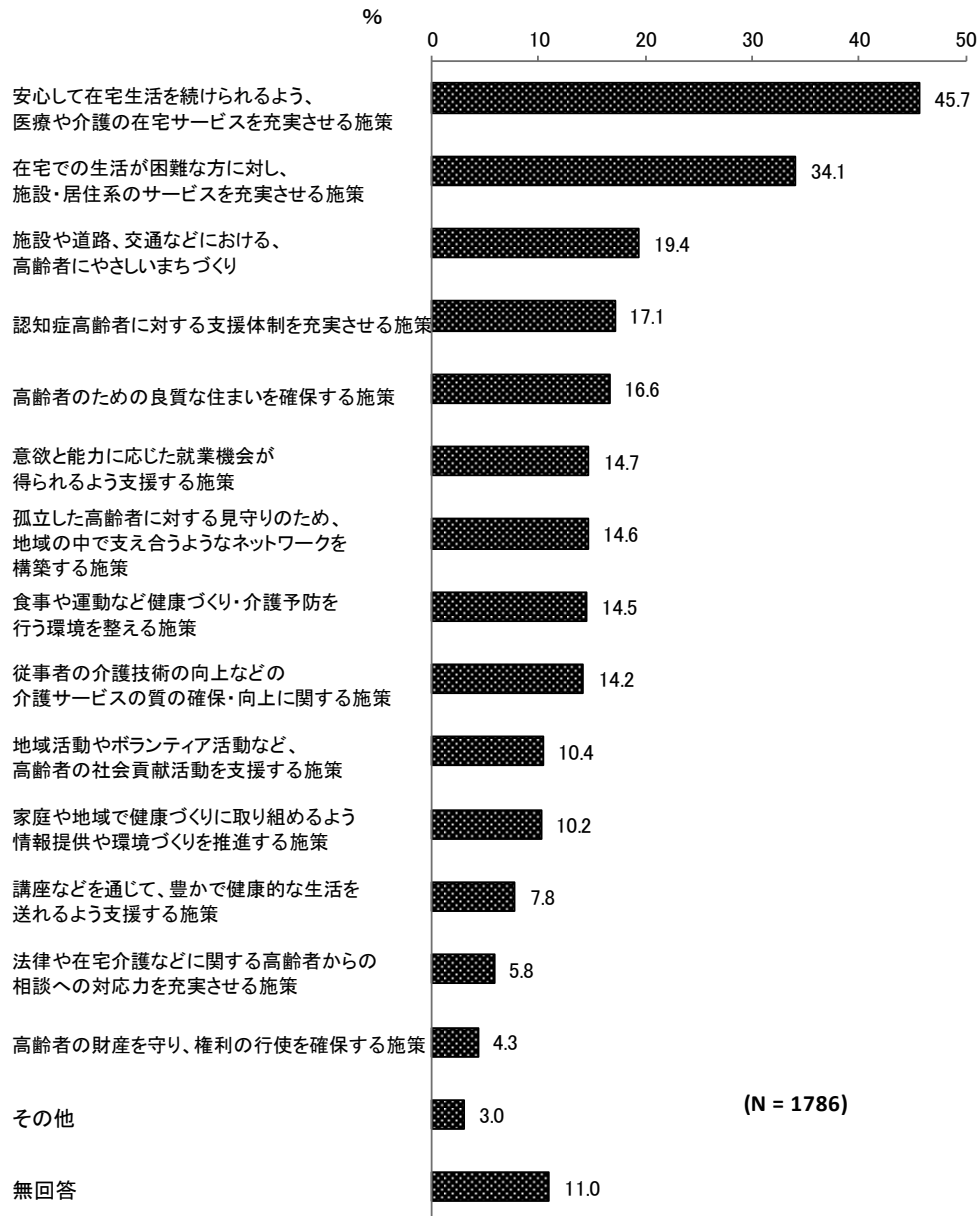
性別にみると、女性の方が男性より「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、三世帯同居世帯では「家族や周囲の人に自分の希望を伝えている」の割合が 32.1%であり、他と比べて高い結果となっている。

(5) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策

問 41 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力を入れてほしいと思いますか。(〇は3つまで)

【図表 3-33-1 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策】



行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策は、「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 45.7%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」が 34.1%、「施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり」が 19.4%となっている。

【図表 3-33-2 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策×性別・年齢別】

		回答数	るを豊講 施送か座 策れでな る健を よ康を 的を通 支な 援生 す活	をを豊講 支者イ域 援のア活 する社動 の会動 施貢な 策献ど 活、ン 動高	よ就意 う業欲 支機と 援会能 すが力 する得 施らに れら るた	くうく家 り情り庭 を報にや 推提取地 進供り域 すや組 る環め健 施境る康 策づよ	策行づ食 うく事 環りや 境・運 を介動 を介な え予 施を康	策じ療続安 スやけ心 を介らして 充護の在 実のる宅 させよ せ宅う るサ、活 施、医	充居な在 実住方宅 させに のサの 施し、生 策、活 ス、施 を・設 を、難	上ビ向従 にス上事 関のの する質の の確の 保保 ・サ 向、の	(%)
全体		1786	7.8	10.4	14.7	10.2	14.5	45.7	34.1	14.2	
性別	男性	775	8.9	11.4	17.3	12.0	13.9	49.2	29.4	9.4	
	女性	994	7.0	9.9	12.9	8.9	14.9	43.5	37.8	18.2	
年齢別	60～64歳	328	8.5	10.1	23.5	9.8	12.2	39.0	40.5	18.0	
	65～69歳	350	7.1	12.0	19.1	8.9	14.3	41.1	36.9	14.6	
	70～74歳	417	7.9	10.3	16.5	10.1	12.5	46.0	37.4	14.4	
	75～79歳	300	7.0	9.7	9.0	11.3	17.0	53.0	28.7	12.0	
	80～84歳	209	8.1	12.0	7.7	14.4	15.8	50.7	31.6	10.0	
	85～89歳	107	11.2	4.7	2.8	10.3	18.7	56.1	19.6	13.1	
	90歳以上	65	6.2	12.3	1.5	3.1	16.9	38.5	24.6	20.0	

		回答数	せる認 施支知 策援症 体高 制高 を者 充に 実対 さす	保り高 す、権 る者 施利の 策の財 行産 使を 守確	充のに法 実相関 させす への高 施対宅 策者介 を力護 をな ら	をよ地孤 構う域す 築な見し す中守た るネ支の すトでり るワえた 策フ、高 ク、合者 う、め く、	施な高 策住齢 まの いの をた 確め 保の す良 る質	りにど施 やに設 さおや しけ道 いる路 ま、、 ち高 づ交 く通 者な	その他	無回答
全体		1786	17.1	4.3	5.8	14.6	16.6	19.4	3.0	11.0
性別	男性	775	17.9	4.8	5.9	13.2	15.1	18.5	3.5	11.6
	女性	994	16.4	3.8	5.6	16.0	17.5	20.5	2.6	10.4
年齢別	60～64歳	328	14.9	5.5	3.7	18.0	21.6	21.3	2.4	9.5
	65～69歳	350	16.6	5.1	6.6	15.1	19.7	19.1	4.0	8.3
	70～74歳	417	13.2	4.1	6.5	16.3	17.5	20.9	2.2	11.0
	75～79歳	300	21.0	2.3	6.0	13.0	13.7	15.7	4.0	11.7
	80～84歳	209	19.6	4.3	6.7	13.4	10.0	21.5	2.9	11.0
	85～89歳	107	19.6	2.8	6.5	7.5	7.5	21.5	2.8	15.9
	90歳以上	65	21.5	4.6	1.5	7.7	16.9	10.8	3.1	20.0

性別にみると、女性の方が男性より「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」「従事者の介護技術の向上などの介護サービスの質の確保・向上に関する施策」の割合が高くなっている。

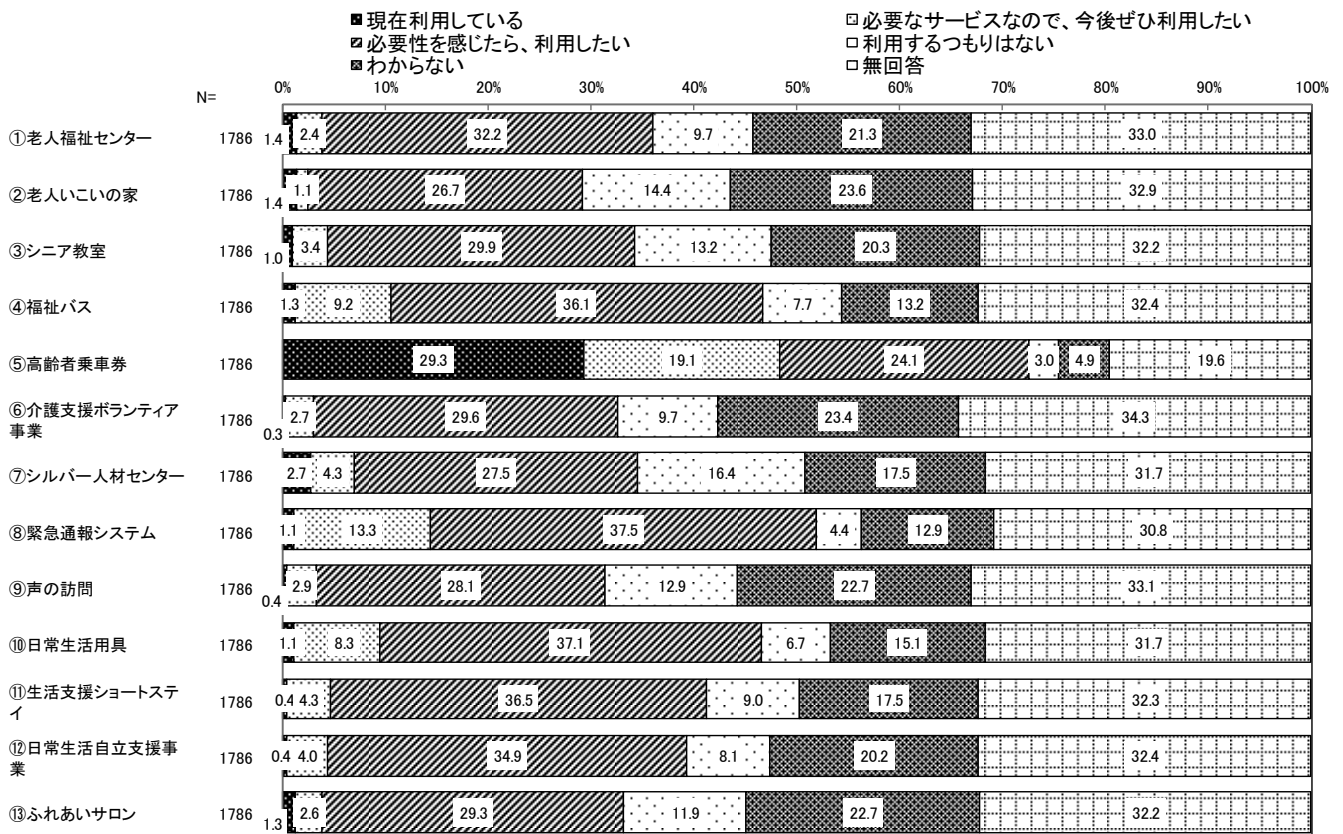
年齢別にみると、年齢が低くなるほど「意欲と能力に応じた就業機会が得られるよう支援する施策」の割合が高くなる傾向があり、60～64歳では23.5%となっている。

(6) 介護サービスの利用

①サービスの利用状況・利用意向

問 42 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-34-1 サービスの利用状況・利用意向】



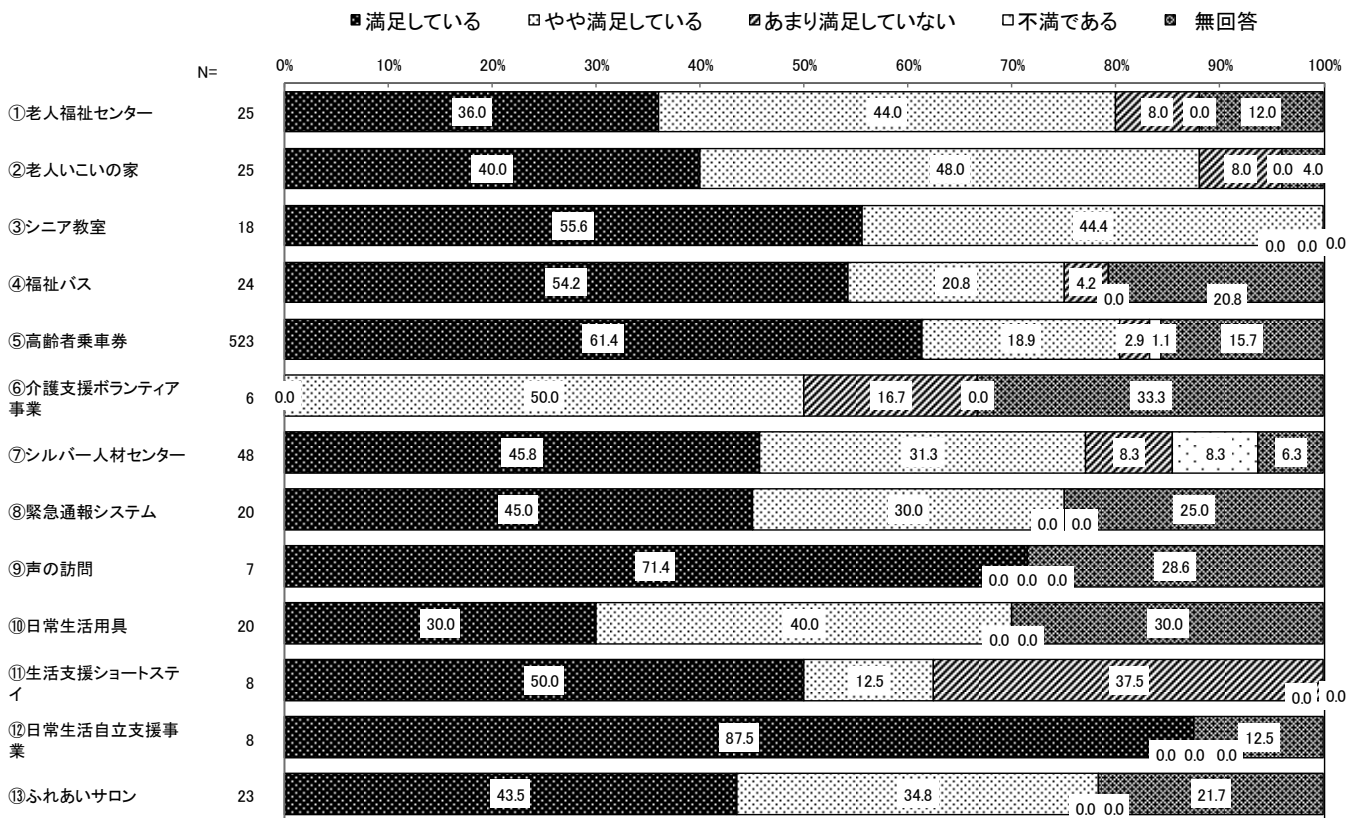
サービスの利用状況・利用意向をみると、「現在利用している」の割合は「高齢者乗車券」が29.3%で最も高く、次いで「シルバー人材センター」が2.7%、それ以外のサービスは1%前後となっている。また、『利用したい』（「必要なサービスなので、今後ぜひ利用したい」と「必要性を感じたら、利用したい」の合計）の割合は「緊急通報システム」が50.8%で最も高く、次いで「日常生活用具」が45.4%、「福祉バス」が45.3%となっている。

②サービスの満足度

問 42 さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。

(項目ごとに○は1つ)

【図表 3-34-2 サービスの満足度】



サービスを利用している場合の満足度は、介護支援ボランティア事業と生活支援ショートステイを除いたすべての項目で、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』の割合が7割以上となった。